

【表紙】

【提出書類】	有価証券届出書の訂正届出書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成28年 5月19日
【発行者名】	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役 桐谷 重毅
【本店の所在の場所】	東京都港区六本木六丁目10番1号 六本木ヒルズ森タワー
【事務連絡者氏名】	法務部 山崎 誠吾
【電話番号】	03 - 6437 - 6000
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券に係るファンドの名称】	日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 積極プラン （年2回決算） 日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン （年2回決算） 日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン （毎月決算）
【届出の対象とした募集（売出）内国投資 信託受益証券の金額】	(1)当初申込期間 募集総額 各ファンドにつき、1,000億円を上限とします。 (2)継続申込期間 募集総額 各ファンドにつき、1兆円を上限とします。
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【有価証券届出書の訂正届出書の提出理由】

本日、有価証券報告書を提出いたしましたので、平成27年8月7日付で提出した有価証券届出書（以下「原届出書」といいます。）の関係事項を新たな情報により訂正するため、本訂正届出書を提出するものであります。

2【訂正の内容】

原届出書の該当情報を以下のとおり訂正または更新します。

下線部_____が訂正部分を示します。

第一部【証券情報】

< 訂正前 >

< 前略 >

(3) 発行（売出）価額の総額

当初申込期間各ファンドにつき、1,000億円を上限とします。継続申込期間各ファンドにつき、1兆円*を上限とします。

* 受益権1口当たりの発行価格に発行口数を乗じて得た金額の合計額です。

(4) 発行（売出）価格

当初申込期間1口当たり1円（1万口当たり1万円）です。継続申込期間取得申込日の翌営業日の基準価額*です。

< 中略 >

(7) 申込期間

当初申込期間2015年8月24日から2015年8月27日まで継続申込期間2015年8月28日から2016年11月18日まで

(注) なお、申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。

< 中略 >

(9) 払込期日

当初申込期間本ファンドの受益権の取得申込者は、申込期間中にお申込代金を販売会社に支払います。販売会社は、2015年8月28日（信託設定日）に、本ファンドのお申込金額を、委託会社の指定する口座を経由して、受託会社の指定するファンド口座に払い込みます。継続申込期間本ファンドの受益権の取得申込者は、本ファンドのお申込代金を販売会社に支払います。払込期日は販売会社によって異なります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

< 後略 >

<訂正後>

<前略>

(3) 発行(売出)価額の総額

各ファンドにつき、1兆円*を上限とします。

* 受益権1口当たりの発行価格に発行口数を乗じて得た金額の合計額です。

(4) 発行(売出)価格

取得申込日の翌営業日の基準価額*です。

<中略>

(7) 申込期間

2015年8月28日から2016年11月18日まで

(注) なお、申込期間は、上記期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。

<中略>

(9) 払込期日

本ファンドの受益権の取得申込者は、本ファンドのお申込代金を販売会社に支払います。払込期日は販売会社によって異なります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<後略>

第二部【ファンド情報】

第1【ファンドの状況】

1 ファンドの性格

<訂正前>

(1) ファンドの目的及び基本的性格

<中略>

本ファンドは、公的年金の運用を参考にしたゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自の投資戦略を遂行することをめざす投資信託であり、公的年金あるいは年金積立管理運用独立行政法人（以下「GPIF」といいます。）と何らかの関係性を有するものではありません。本ファンドの運用は、GPIFの運用成果に連動することをめざすものではありません。また生命保険会社等が提供する年金商品とは異なります。本ファンドは値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。

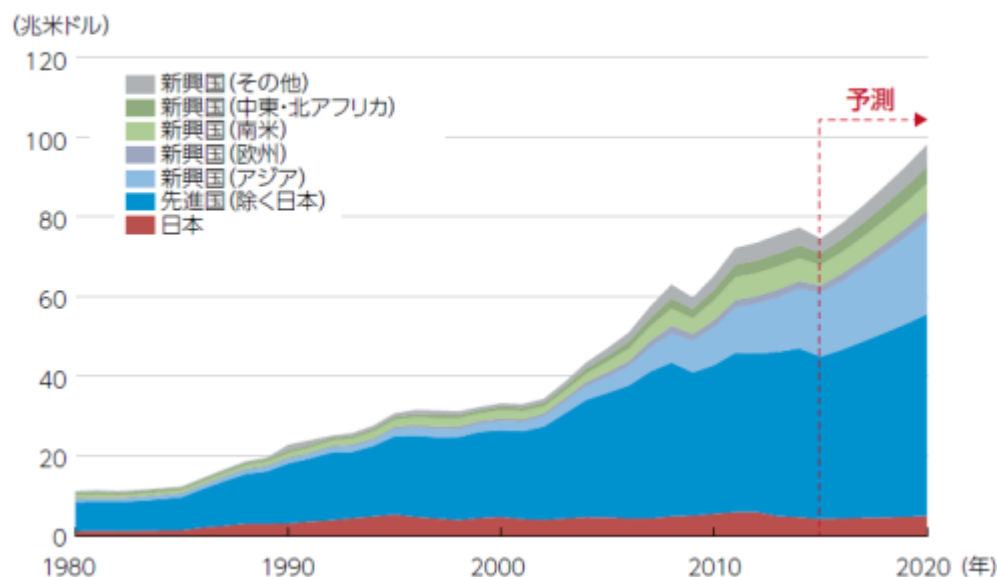
委託会社が属するゴールドマン・サックスの資産運用グループ全体を「ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント」といい、G S A Mと表記することがあります（以下同じ）。

<中略>

1. グローバルの経済成長と分散投資

世界中のさまざまな資産を投資対象とし、長期の資産成長と収益の安定化を図ります。

名目GDP推移(1980年-2020年)



出所：IMF（国際通貨基金）World Economic Outlook, April 2015 に基づき G S A M 作成（予測値を含む）

<中略>

運用目的の異なる複数の運用プランがあります。

積極プラン	
年2回決算	
運用プラン	公的年金の運用成果等を上回る工夫を行い、積極的に資産の成長をめざします。
	< 中略 >
投資配分比率 (マザーファンド) (2015年6月時点)	<p>現金等5%</p> <p>株式42%</p> <p>債券35%</p> <p>オルタナティブ19%</p> <p>先進国株式 29%</p> <p>グローバル小型株式 9%</p> <p>新興国株式 4%</p> <p>先進国債券 19%</p> <p>グローバル社債 4%</p> <p>ハイイールド債券 12%</p> <p>新興国債券 10%</p> <p>ヘッジファンド 3%</p> <p>インフラ 4%</p> <p>リート 2%</p> <p>コモディティ 3%</p> <p>現金等 5%</p>

< 中略 >

お客様の運用目的が達成できる保証や公的年金等を上回る保証はありません。

安定プラン	
年2回決算	毎月決算
運用プラン	公的年金の運用成果等を上回る工夫を行い、安定した資産の成長をめざします。
	< 中略 >
投資配分比率 (マザーファンド) (2015年6月時点)	<p>現金等4%</p> <p>株式21%</p> <p>債券64%</p> <p>オルタナティブ11%</p> <p>先進国株式 15%</p> <p>グローバル小型株式 4%</p> <p>新興国株式 2%</p> <p>先進国債券 54%</p> <p>グローバル社債 4%</p> <p>ハイイールド債券 1%</p> <p>新興国債券 7%</p> <p>ヘッジファンド 1%</p> <p>インフラ 4%</p> <p>リート 1%</p> <p>コモディティ 1%</p> <p>現金等 4%</p>

< 中略 >

お客様の運用目的が達成できる保証や公的年金等を上回る保証はありません。

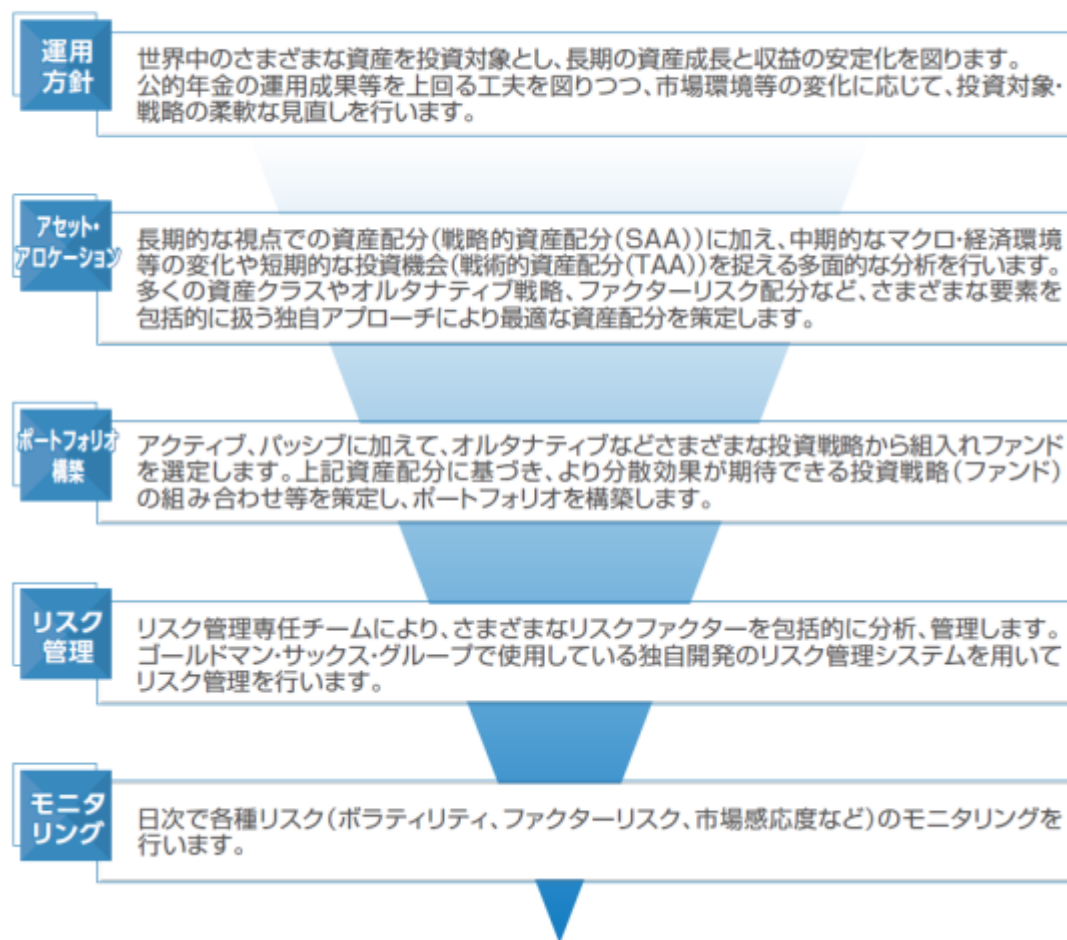
< ファンドの運用 >

< 中略 >

マルチ・アセット運用専門チーム グローバル・ポートフォリオ・ソリューションズ (GPS)	
さまざまな分野の90名超の専門家集団 <ul style="list-style-type: none"> ・ファイナンス理論、数学、物理学、工学、法学、会計学、コンピューター・サイエンス、アクチュアリー ・シニア・メンバーのうち、48名が博士、経営学修士 (MBA) ・平均経験年数 15年 	ゴールドマン・サックス・グループの総合力と専門性 <ul style="list-style-type: none"> ・債券、株式からオルタナティブまで幅広い運用実績 ・独自分析による革新的なアイデア ・グループ内外のリソースを活用し、最適ポートフォリオを構築

2015年3月末現在

運用プロセス



< 中略 >

上記運用プロセスがその目的を達成する保証はありません。公的年金等を上回る保証はありません。また、上記の運用体制および運用プロセスは変更される場合があります。

(2) ファンドの沿革

本ファンドの信託設定日は2015年8月28日であり、同日より運用を開始します(予定)。
マザーファンドの信託設定日は2015年4月21日であり、同日より運用を開始しました。

(3) ファンドの仕組み

< 中略 >

<ご参考> ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント(GSAM)とは

< 中略 >

ゴールドマン・サックスの資産運用グループであるゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント(GS AM)は、1988年の設立以来、世界各国の投資家に資産運用サービスを提供しており、2014年12月末現在、グループ全体で1兆239億米ドル(約123.4兆円*)の資産を運用しています。

*米ドルの円貨換算は便宜上、2014年12月30日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1米ドル=120.55円)により、計算しております。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの東京拠点です。

委託会社等の概況

<中略>

c. 大株主の状況

(本書提出日現在)

氏名または名称	住所	所有株式数 (株)	所有比率 (%)
<u>ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー</u>	<u>アメリカ合衆国ニューヨーク州 ニューヨーク市ウェスト・ストリート 200番地</u>	6,336	99
<u>ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク</u>	<u>アメリカ合衆国ニューヨーク州 ニューヨーク市ウェスト・ストリート 200番地</u>	64	1

<訂正後>

(1) ファンドの目的及び基本的性格

<中略>

本ファンドは、公的年金の運用を参考にしたゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント独自の投資戦略を遂行することをめざす投資信託であり、公的年金あるいは年金積立管理運用独立行政法人（以下「GPIF」といいます。）と何らかの関係性を有するものではありません。本ファンドの運用は、GPIFの運用成果に連動することをめざすものではありません。また生命保険会社等が提供する年金商品とは異なります。本ファンドは値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。

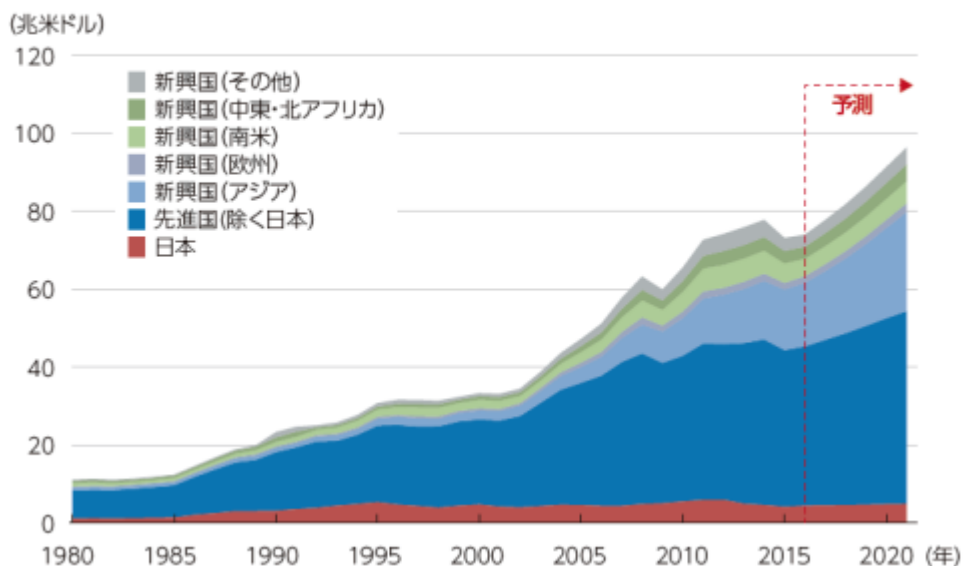
__委託会社が属するゴールドマン・サックスの資産運用グループ全体を「ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント」といいます（以下同じ）。

<中略>

1. グローバルの経済成長と分散投資

世界中のさまざまな資産を投資対象とし、長期の資産成長と収益の安定化を図ります。

名目GDP推移(1980年-2021年)



出所：IMF（国際通貨基金）World Economic Outlook, April 2016（予測値を含む）に基づきゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント作成

<中略>

運用目的の異なる複数の運用プランがあります。

積極プラン																															
年2回決算																															
運用プラン	公的年金のポートフォリオを参照しつつ、積極的に資産の成長をめざします。																														
	< 中略 >																														
投資配分比率 (マザーファンド) (2016年2月時点)	<p>A pie chart showing the investment allocation for the Active Plan as of February 2016. The chart is divided into 12 categories. The largest category is '株式' (Equity) at 42%, followed by '債券' (Bonds) at 33%. Other categories include '先進国株式' (30%), '先進国債券' (18%), '現金等' (9%), 'その他' (15%), 'グローバル小型株式' (8%), 'グローバル社債' (8%), 'ハイ・イールド債券' (4%), '新興国債券' (4%), 'ヘッジファンド' (3%), 'インフラ' (3%), 'リート' (1%), and 'コモディティ' (1%).</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>投資区分</th> <th>比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>株式</td><td>42%</td></tr> <tr><td>債券</td><td>33%</td></tr> <tr><td>先進国株式</td><td>30%</td></tr> <tr><td>先進国債券</td><td>18%</td></tr> <tr><td>現金等</td><td>9%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>15%</td></tr> <tr><td>グローバル小型株式</td><td>8%</td></tr> <tr><td>グローバル社債</td><td>8%</td></tr> <tr><td>ハイ・イールド債券</td><td>4%</td></tr> <tr><td>新興国債券</td><td>4%</td></tr> <tr><td>ヘッジファンド</td><td>3%</td></tr> <tr><td>インフラ</td><td>3%</td></tr> <tr><td>リート</td><td>1%</td></tr> <tr><td>コモディティ</td><td>1%</td></tr> </tbody> </table>	投資区分	比率	株式	42%	債券	33%	先進国株式	30%	先進国債券	18%	現金等	9%	その他	15%	グローバル小型株式	8%	グローバル社債	8%	ハイ・イールド債券	4%	新興国債券	4%	ヘッジファンド	3%	インフラ	3%	リート	1%	コモディティ	1%
投資区分	比率																														
株式	42%																														
債券	33%																														
先進国株式	30%																														
先進国債券	18%																														
現金等	9%																														
その他	15%																														
グローバル小型株式	8%																														
グローバル社債	8%																														
ハイ・イールド債券	4%																														
新興国債券	4%																														
ヘッジファンド	3%																														
インフラ	3%																														
リート	1%																														
コモディティ	1%																														

< 中略 >

お客様の運用目的が達成できる保証はありません。

安定プラン																															
年2回決算	毎月決算																														
運用プラン	公的年金のポートフォリオを参照しつつ、安定した資産の成長をめざします。																														
	< 中略 >																														
投資配分比率 (マザーファンド) (2016年2月時点)	<p>A pie chart showing the investment allocation for the Stable Plan as of February 2016. The chart is divided into 12 categories. The largest category is '債券' (Bonds) at 59%, followed by '株式' (Equity) at 21%. Other categories include '先進国債券' (50%), '現金等' (10%), 'その他' (10%), '先進国株式' (15%), 'グローバル小型株式' (4%), 'グローバル社債' (4%), 'ハイ・イールド債券' (2%), '新興国債券' (1%), 'ヘッジファンド' (6%), 'インフラ' (2%), 'リート' (1%), and 'コモディティ' (1%).</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>投資区分</th> <th>比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>債券</td><td>59%</td></tr> <tr><td>株式</td><td>21%</td></tr> <tr><td>先進国債券</td><td>50%</td></tr> <tr><td>現金等</td><td>10%</td></tr> <tr><td>その他</td><td>10%</td></tr> <tr><td>先進国株式</td><td>15%</td></tr> <tr><td>グローバル小型株式</td><td>4%</td></tr> <tr><td>グローバル社債</td><td>4%</td></tr> <tr><td>ハイ・イールド債券</td><td>2%</td></tr> <tr><td>新興国債券</td><td>1%</td></tr> <tr><td>ヘッジファンド</td><td>6%</td></tr> <tr><td>インフラ</td><td>2%</td></tr> <tr><td>リート</td><td>1%</td></tr> <tr><td>コモディティ</td><td>1%</td></tr> </tbody> </table>	投資区分	比率	債券	59%	株式	21%	先進国債券	50%	現金等	10%	その他	10%	先進国株式	15%	グローバル小型株式	4%	グローバル社債	4%	ハイ・イールド債券	2%	新興国債券	1%	ヘッジファンド	6%	インフラ	2%	リート	1%	コモディティ	1%
投資区分	比率																														
債券	59%																														
株式	21%																														
先進国債券	50%																														
現金等	10%																														
その他	10%																														
先進国株式	15%																														
グローバル小型株式	4%																														
グローバル社債	4%																														
ハイ・イールド債券	2%																														
新興国債券	1%																														
ヘッジファンド	6%																														
インフラ	2%																														
リート	1%																														
コモディティ	1%																														

< 中略 >

お客様の運用目的が達成できる保証はありません。

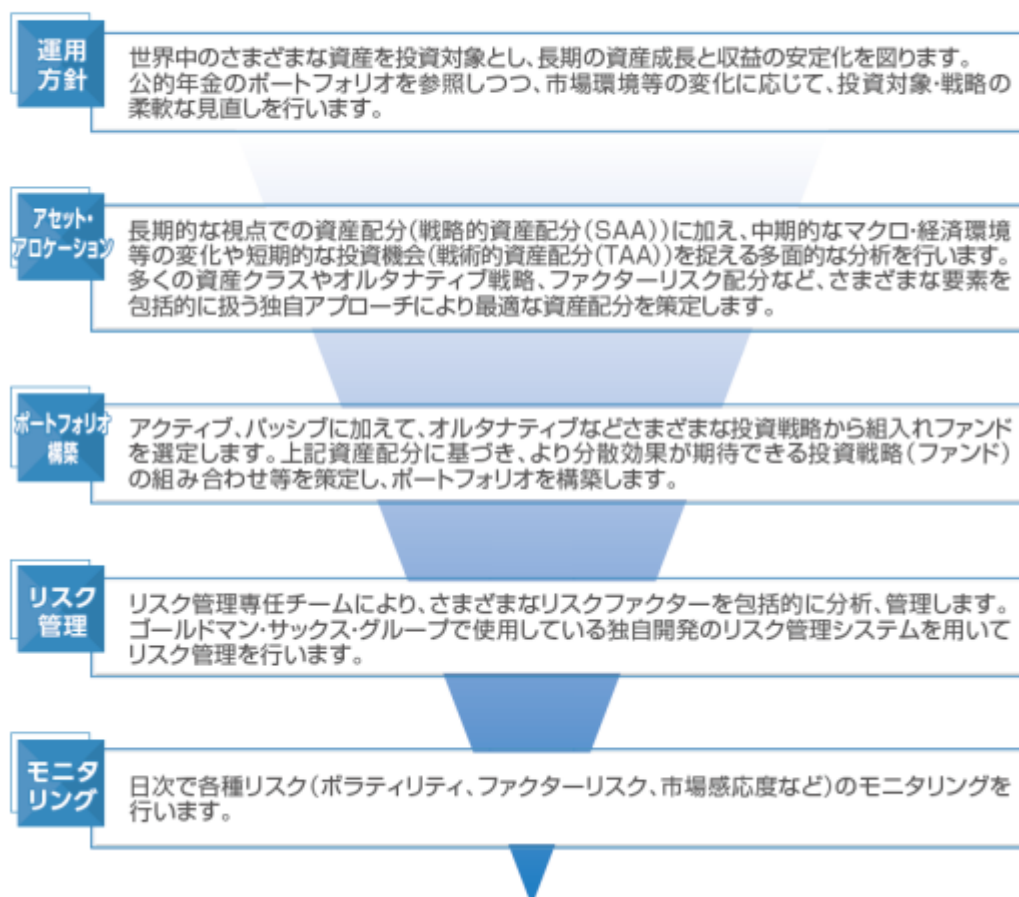
< ファンドの運用 >

< 中略 >

マルチ・アセット運用専門チーム グローバル・ポートフォリオ・ソリューションズ (GPS)	
さまざまな分野の120名超の専門家集団 <ul style="list-style-type: none"> ・ファイナンス理論、数学、物理学、工学、法 学、会計学、コンピューター・サイエンス、ア クチュアリー ・68名が博士・経営学修士（MBA）等の資格を保有 ・平均経験年数 15年 	ゴールドマン・サックス・グループの総合力と専門性 <ul style="list-style-type: none"> ・債券、株式からオルタナティブまで幅広い運用 実績 ・独自分析による革新的なアイデア ・グループ内外のリソースを活用し、最適ポート フォリオを構築

2015年12月末現在

運用プロセス



< 中略 >

上記運用プロセスがその目的を達成する保証はありません。また、上記の運用体制および運用プロセスは変更される場合があります。

(2) ファンドの沿革

本ファンドの信託設定日は2015年8月28日であり、同日より運用を開始しました。

マザーファンドの信託設定日は2015年4月21日であり、同日より運用を開始しました。

(3) ファンドの仕組み

< 中略 >

<ご参考> ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント (GSAM) とは

< 中略 >

ゴールドマン・サックスの資産運用グループであるゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント (GSAM) は、1988年の設立以来、世界各国の投資家に資産運用サービスを提供しており、2015年12月末現在、グループ全体で1兆827億米ドル(約131兆円*)の資産を運用しています。

*米ドルの円貨換算は便宜上、2015年12月30日現在の株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信売買相場の仲値(1米ドル=120.61円)により、計算しております。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社は、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメントの東京拠点です。

委託会社等の概況

< 中略 >

c. 大株主の状況

(本書提出日現在)

氏名または名称	住所	所有株式数 (株)	所有比率 (%)
ゴールドマン・サックス・アセット・ マネジメント・インターナショナル・ ホールディングス・エルエルシー	アメリカ合衆国ニューヨーク州 ニューヨーク市ウェスト・ストリート 200番地	6,400	100

2 投資方針

(2) 投資対象

原届出書の「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 2 投資方針 (2) 投資対象 (e) マザーファンドにおける投資対象」については、下記の内容に更新されます。

<訂正・更新後>

(e) マザーファンドにおける投資対象

マザーファンドにおける投資対象は、指定投資信託証券および上場投資信託証券のほか、ベビーファンドと実質的に同一の投資対象です。

1. 指定投資信託証券

指定投資信託証券は適宜見直しを行います。この際、指定投資信託証券として指定されていた投資信託証券が指定から外れたり、新たな投資信託証券が指定投資信託証券として指定される場合もあります。なお、すべての指定投資信託証券に投資するとは限りません。

2. 上場投資信託証券

上場投資信託証券は、主に日本を含む世界の株式、債券、通貨、不動産投資信託（REIT）、コモディティ、マスター・リミテッド・パートナーシップ（MLP）を主要投資対象とする上場投資信託証券の中から、資金動向および収益性等を総合的に勘案して選択します。なお、常に上場投資信託証券に投資するとは限りません。

指定投資信託証券および上場投資信託証券の詳細については、以下の「投資対象とする投資信託証券の概要」をご覧ください。「投資対象とする投資信託証券の概要」に掲載された投資信託証券は2016年2月末日現在の一覧です。上場投資信託証券については以下に記載されていない証券に投資することがあります。最新の組入れ状況は委託会社のホームページ（www.gsam.co.jp）に掲載の月次レポートをご覧ください。

投資対象とする投資信託証券の概要

		ファンド名 (上場投資信託証券(ETF)については、主たる 上場取引所、運用会社、運用報酬)	主な投資対象 運用の基本方針
株式	1	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・エク イティ・パートナーズ	日本を含む世界の株式および株式関連証券 アクティブ運用により、信託財産の長期的な 成長を目指します。
	2	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル CORE エクイティ・ポートフォリオ	日本を含む世界の株式および株式関連証券 計量運用により、長期的な投資元本の成長を 目指します。
	3	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス GIVI グローバル・ エクイティ - グロス・マーケット・ティル ト・ポートフォリオ	日本を含む世界の株式および株式関連証券 S&P GIVIグローバル・グロス・マーケッ ツ・ティルトをベンチマークとし、ベンチ マークのグロス・トータル・リターンに概ね 連動した運用を目指します。
	4	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・ス モール・キャップ CORE ポートフォリオ	日本を含む世界の小型株式および株式関連証 券 計量運用により、長期的な投資元本の成長を 目指します。

5	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グロス&エマ ージング・マーケット・ブロード・エクイティ・ ポートフォリオ	エマージング諸国の株式および株式関連証券 アクティブ運用により、信託財産の長期的な 成長を目指します。
6	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グロス&エマ ージング・マーケット CORE エクイティ・ポート フォリオ	エマージング諸国の株式および株式関連証券 計量運用により、長期的な投資元本の成長を 目指します。
7	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス GIVI グロス&エ マージング・マーケット・エクイティ・ポート フォリオ	エマージング諸国の株式および株式関連証券 S&P GIVIグロス&エマージング・マーケ ツをベンチマークとし、ベンチマークのグロ ス・トータル・リターンに概ね連動した運用 を目指します。
8	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス US エクイティ・ ポートフォリオ	米国の株式および株式関連証券 アクティブ運用により、信託財産の長期的な 成長を目指します。
9	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・ジャパン・ポート フォリオ	日本の株式および株式関連証券 アクティブ運用により、信託財産の長期的な 成長を目指します。
10	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・ヨーロッパ CORE エクイティ・ポートフォリオ	欧州の株式および株式関連証券 計量運用により、長期的な投資元本の成長を 目指します。
11	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス GIVI ヨーロッパ・ エクイティ・ポートフォリオ	欧州の株式および株式関連証券 S&P GIVIヨーロッパをベンチマークとし、ベン チマークのグロス・トータル・リターンに 概ね連動した運用を目指します。
12	上場投資信託証券 iシェアーズ米ドルヘッジ MSCI ユーロゾーン ETF (主たる上場取引所：NYSEアーカ取引所) (運用会社：ブラックロック・ファンド・アド バイザーズ) (運用報酬：年率0.62%)	MSCI EMUインデックス（100%対米ドル為替 ヘッジ）に含まれる欧州の株式 上記インデックスをベンチマークとし、ベン チマークに概ね連動した運用を目指します。
13	上場投資信託証券 iシェアーズ・コア MSCI エマージング・マー ケット IMI UCITS ETF (主たる上場取引所：ロンドン証券取引所) (運用会社：ブラックロック・アセット・マネ ジメント・アイルランド・リミテッド) (運用報酬：年率0.25%)	MSCIエマージング・マーケット・インベスタ ブル・マーケット・インデックスに含まれる エマージング諸国の株式 上記インデックスをベンチマークとし、ベン チマークに概ね連動した運用を目指します。
14	上場投資信託証券 iシェアーズ MSCI インディア ETF (主たる上場取引所：BATS証券取引所) (運用会社：ブラックロック・ファンド・アド バイザーズ) (運用報酬：年率0.68%)	MSCIインディア・インデックスに含まれるイ ンドの株式 上記インデックスをベンチマークとし、ベン チマークに概ね連動した運用を目指します。

	15	上場投資信託証券 iシェアーズ MSCI ジャパン ETF (主たる上場取引所：NYSEアーカ取引所) (運用会社：ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ) (運用報酬：年率0.48%)	MSCIジャパン・インデックスに含まれる日本の株式 上記インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに概ね連動した運用を目指します。
	16	上場投資信託証券 SPDR S&P バンク ETF (主たる上場取引所：NYSEアーカ取引所) (運用会社：SSGAファンズ・マネジメント・インク) (運用報酬：年率0.35%)	S&Pバンク・セレクト・インダストリー・インデックスに含まれる株式 上記インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに概ね連動した運用を目指します。
債券	17	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・フィクスト・インカム・ポートフォリオ(為替ヘッジあり)	日本を含む世界の投資適格債券 収入(インカム・ゲイン)と資産価値増加(キャピタル・ゲイン)からなる高水準のトータル・リターンを獲得することを目指します。
	18	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・フィクスト・インカム・ポートフォリオ	日本を含む世界の投資適格債券 収入(インカム・ゲイン)と資産価値増加(キャピタル・ゲイン)からなる高水準のトータル・リターンを獲得することを目指します。
	19	ケイマン籍外国投資信託 ゴールドマン・サックス・コクサイ・フィクスト・インカム・ファンド(適格機関投資家限定) - ゴールドマン・サックス・コクサイ・フィクスト・インカム・ファンド(為替ヘッジあり)(適格機関投資家限定)	日本を除く世界の投資適格債券 日本を除く世界の投資適格債券への投資およびアクティブ通貨運用を通じて安定してベンチマークであるシティ世界国債インデックス(除く日本)100%為替円ヘッジを上回る運用成果を目指します。
	20	ケイマン籍外国投資信託 ゴールドマン・サックス・コクサイ・フィクスト・インカム・ファンド(適格機関投資家限定) - ゴールドマン・サックス・コクサイ・フィクスト・インカム・ファンド(為替ヘッジなし)(適格機関投資家限定)	日本を除く世界の投資適格債券 日本を除く世界の投資適格債券への投資およびアクティブ通貨運用を通じて安定してベンチマークであるシティ世界国債インデックス(除く日本)為替ヘッジなしを上回る運用成果を目指します。
	21	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・クレジット・ポートフォリオ(為替ヘッジあり)	日本を含む世界の投資適格社債等 収入(インカム・ゲイン)と資産価値増加(キャピタル・ゲイン)からなる高水準のトータル・リターンを獲得することを目指します。
	22	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオ	北米およびヨーロッパの企業が発行する、投資適格未満の有価証券 収入(インカム・ゲイン)と資産価値増加(キャピタル・ゲイン)からなる高水準のトータル・リターンを獲得することを目指します。

	23	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グロース&エマージング・マーケッツ・デット・ポートフォリオ	エマージング諸国の米ドル建て債券 収入(インカム・ゲイン)と資産価値増加(キャピタル・ゲイン)からなる高水準のトータル・リターンを獲得することを目指します。
	24	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グロース&エマージング・マーケッツ・デット・ローカル・ポートフォリオ	エマージング諸国の現地通貨建て債券 収入(インカム・ゲイン)と資産価値増加(キャピタル・ゲイン)からなる高水準のトータル・リターンを獲得することを目指します。
	25	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・インカム・ボンド・ポートフォリオ	日本および新興国を含む世界の政府および政府機関が発行する債券、社債(ハイ・イールド債券を含みます。)、モーゲージ証券、アセットバック証券および通貨等 市場環境に応じて機動的に資産配分を行い、利息収入(インカム・ゲイン)と資産価値増加(キャピタル・ゲイン)からなるトータル・リターンを獲得することを目指します。
	26	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・カレンシー・プラス・ポートフォリオ	日本および新興国を含む世界の通貨、債券およびキャッシュ等 長期的に資産価値増加(キャピタル・ゲイン)の獲得を目指します。
その他	27	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ルクス・インベストメント・ファンズ - ゴールドマン・サックス・ストラテジック・コモディティーズ・ポートフォリオ	商品指数先物、個別の商品先物および米ドル建て債券、キャッシュ等 デリバティブ取引等を用いて、商品指数先物、個別の商品先物へのエクスポージャーをとることで資産価値増加(キャピタル・ゲイン)の獲得を目指します。
	28	ケイマン籍外国投資信託 ゴールドマン・サックス・インベストメント・ユニット・トラスト - ゴールドマン・サックス・エンハンスド・コモディティ・サブ・トラスト(日本においては適格機関投資家限定)	商品指数先物取引等(S&P GSCI先物またはS&P GSCIを構成する個別の商品先物)と米ドル建て投資適格債券 S&P GSCIトータル・リターン・インデックス(米ドル・ベース)をベンチマークとし、ベンチマークを上回る投資成果を目指します。
	29	上場投資信託証券 iシェアーズ・グローバル・インフラストラクチャー ETF (主たる上場取引所: NYSEアーカ取引所) (運用会社: ブラックロック・ファンド・アドバイザーズ) (運用報酬: 年率0.48%)	S&Pグローバル・インフラストラクチャー・インデックスに含まれる日本を含む先進国のインフラ関連企業の株式 上記インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに概ね連動した運用を目指します。
	30	上場投資信託証券 SPDR® ダウ・ジョーンズ® インターナショナル・リアル・エステート ETF (主たる上場取引所: NYSEアーカ取引所) (運用会社: SSGAファンズ・マネジメント・インク) (運用報酬: 年率0.59%)	ダウ・ジョーンズ ex-US セレクト REIT インデックスに含まれる米国を除き日本を含む世界のREIT 上記インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに概ね連動した運用を目指します。

31	<p>上場投資信託証券 SPDR® ダウ・ジョーンズ® REIT ETF (主たる上場取引所：NYSEアーカ取引所) (運用会社：SSGAファンズ・マネジメント・インク) (運用報酬：年率0.25%)</p>	<p>ダウ・ジョーンズ US セレクト REIT インデックスに含まれる米国のREIT 上記インデックスをベンチマークとし、ベンチマークに概ね連動した運用を目指します。</p>
32	<p>上場投資信託証券 SPDR® ゴールド・シェア (主たる上場取引所：NYSEアーカ取引所) (スポンサー：ワールド・ゴールド・トラスト・サービシズ・エルエルシー) (総経費：年率0.40%)</p>	<p>金 経費控除前で、金地金の価格の動向を反映させることを目標とします。</p>
33	<p>ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・アブソリュート・リターン・トラッカー・ポートフォリオ</p>	<p>日本および新興国を含む世界の株式、商品先物等、債券、社債、クレジット（ハイ・イールド債券を含みます。） 広範な資産クラスからなる複数のヘッジファンドから構成されるポートフォリオのリターンの特徴に概ね連動した運用を目指します。</p>
34	<p>ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・リキッド・オルタナティブ・ベータ・トレンド・ポートフォリオ</p>	<p>金利、国債、株式、コモディティ、通貨セクター等（セクターは、追加・削除されることがあります。） トレンド・ストラテジーを用いる複数のヘッジファンドから構成されるポートフォリオのリターンの特徴に概ね連動した運用を目指します。</p>
35	<p>ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・エクイティ・ロング・ショート・ポートフォリオ</p>	<p>主に北米およびヨーロッパにフォーカスした日本を含む世界の株式、株式関連証券およびデリバティブ等 ロング・ショート戦略等を用いて、資産価値増加（キャピタル・ゲイン）からなる絶対リターンを獲得することを目指します（ただし、絶対リターンを保証するものではありません。）。</p>
36	<p>ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・アブソリュート・リターン・ポートフォリオ</p>	<p>日本および新興国を含む世界の株式、株式関連証券、債券、通貨、商品先物およびデリバティブ等 さまざまな投資戦略を用いて、戦術的に資産配分を行い、利息収入（インカム・ゲイン）と資産価値増加（キャピタル・ゲイン）からなるトータル・リターンを獲得することを目指します。</p>
37	<p>ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・マクロ・ボンド・ポートフォリオ</p>	<p>日本を含む世界の政府および政府機関が発行する債券、モーゲージ証券、アセットバック証券、通貨およびデリバティブ等 市場環境に応じて機動的に投資戦略に資産配分を行い、利息収入（インカム・ゲイン）と資産価値増加（キャピタル・ゲイン）からなるトータル・リターンを獲得することを目指します。</p>

38	ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ルクス・インベ ストメント・ファンズ - カスタム・オルタナティブ・リスク・プレミ ア・ポートフォリオ（ルクス）	株式、債券、社債、通貨、コモディティ等へ の直接およびデリバティブ等を用いた間接投 資 複数のオルタナティブ・リスク・プレミア戦 略への分散投資を通して伝統的資産クラスと のベータの低い絶対リターンをめざします。
39	アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエル シー - ゴールドマン・サックス US\$ リキッド・リ ザーブズ・ファンド	米ドル建ての短期の市場性を有する金融市場 証券 元本と流動性を確保しつつ、最大限の収益を 得ることを目標として運用を行います。

(注1) 主に、米ドル建て、ユーロ建て、ポンド建ての証券に投資することを予定していますが、これら通貨に限定するものではありません。

(注2) 上記投資信託証券のデュレーションヘッジを行うクラスに投資することがあります。

(注3) 上記投資信託証券のうち上場投資信託証券以外が指定投資信託証券です。

ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. 共通事項	
運用報酬等	運用報酬： なし 申込手数料： なし 解約手数料： なし 信託財産留保額： なし その他の費用： 管理報酬、管理事務代行報酬、保管報酬、登録・名義書換事務代行報酬がファンドから支払われるほか、ファンドにかかる事務の処理等に要する諸費用（監査費用、法律顧問への報酬、印刷費用等を含みます。）が、ファンドより実費にて支払われます。また、その他、株式等の売買委託手数料等取引に要する費用、信託財産に関する租税等もファンドの負担となります。
管理会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・グローバル・サービス・リミテッド
投資顧問会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル
副投資顧問会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー ゴールドマン・サックス（シンガポール）ピーティーイー ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社 副投資顧問会社は、今後、追加・変更される場合があります。

(注) 上記投資信託証券については、一部を除き、日々の流出入額が純資産総額の一定割合を超える場合、純資産価格の調整が行われます。これは、資金の流出入から受ける取引コスト等が当該投資信託証券に与えるインパクトを軽減することを意図していますが、算出日における資金の流出入の動向が、純資産価格に影響を与えることとなります。

上記は本書提出日現在の概要であり、今後、当該項目の内容が変更される場合があります。

ルクセンブルク籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ルクス・インベストメント・ファンズ 共通事項	
運用報酬等	運用報酬： なし 申込手数料： なし 解約手数料： なし 信託財産留保額： なし その他の費用： 管理報酬、管理事務代行報酬、保管報酬、登録・名義書換事務代行報酬がファンドから支払われるほか、ファンドにかかる事務の処理等に要する諸費用（監査費用、法律顧問への報酬、印刷費用等を含みます。）が、ファンドより実費にて支払われます。また、その他、株式等の売買委託手数料等取引に要する費用、信託財産に関する租税等もファンドの負担となります。

管理会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・グローバル・サービス・リミテッド
投資顧問会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル
副投資顧問会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー 副投資顧問会社は、今後、追加・変更される場合があります。

上記は本書提出日現在の概要であり、今後、当該項目の内容が変更される場合があります。

ケイマン籍外国投資信託 ゴールドマン・サックス・コクサイ・フィックス・インカム・ファンド（適格機関投資家限定） 共通事項	
運用報酬等	運用報酬： なし 申込手数料： なし 解約手数料： なし 信託財産留保額： なし その他の費用： 受託報酬、管理事務代行報酬、保管報酬、登録・名義書換事務代行報酬がファンドから支払われるほか、ファンドにかかる事務の処理等に要する諸費用（監査費用、法律顧問への報酬、印刷費用等を含みます。）が、ファンドより実費にて支払われます。また、その他、株式等の売買委託手数料等取引に要する費用、信託財産に関する租税等もファンドの負担となります。
投資顧問会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー
副投資顧問会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル

（注）上記投資信託証券については、日々の流出入額が純資産総額の一定割合を超える場合、純資産価格の調整が行われます。これは、資金の流入から受ける取引コスト等が当該投資信託証券に与えるインパクトを軽減することを意図していますが、算出日における資金の流出入の動向が、純資産価格に影響を与えることとなります。

上記は本書提出日現在の概要であり、今後、当該項目の内容が変更される場合があります。

ケイマン籍外国投資信託 ゴールドマン・サックス・インベストメント・ユニット・トラスト 共通事項	
運用報酬等	運用報酬： なし 申込手数料： なし 解約手数料： なし 信託財産留保額： なし その他の費用： 受託報酬、管理事務代行報酬、保管報酬、登録・名義書換事務代行報酬、受益者サービス報酬がファンドから支払われるほか、ファンドにかかる事務の処理等に要する諸費用（監査費用、法律顧問への報酬、印刷費用等を含みます。）が、ファンドより実費にて支払われます。また、その他、株式等の売買委託手数料等取引に要する費用、信託財産に関する租税等もファンドの負担となります。
投資顧問会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー
副投資顧問会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル 副投資顧問会社は、今後、追加・変更される場合があります。

上記は本書提出日現在の概要であり、今後、当該項目の内容が変更される場合があります。

アイルランド籍外国投資証券 ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー - ゴールドマン・サックス US\$ リキッド・リザーブズ・ファンド	
運用報酬等	<p>運用報酬： なし</p> <p>申込手数料： なし</p> <p>解約手数料： なし</p> <p>信託財産留保額： なし</p> <p>その他の費用： 管理報酬、管理事務代行報酬、保管報酬、登録・名義書換事務代行報酬、受益者サービス報酬がファンドから支払われるほか、ファンドにかかる事務の処理等に要する諸費用（監査費用、法律顧問への報酬、印刷費用等を含みます。）が、ファンドより実費にて支払われます。また、その他、株式等の売買委託手数料等取引に要する費用、信託財産に関する租税等もファンドの負担となります。</p>
管理会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・グローバル・サービスズ・リミテッド
投資顧問会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル
副投資顧問会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー

上記は本書提出日現在の概要であり、今後、当該項目の内容が変更される場合があります。

3 投資リスク

<訂正前>

<前略>

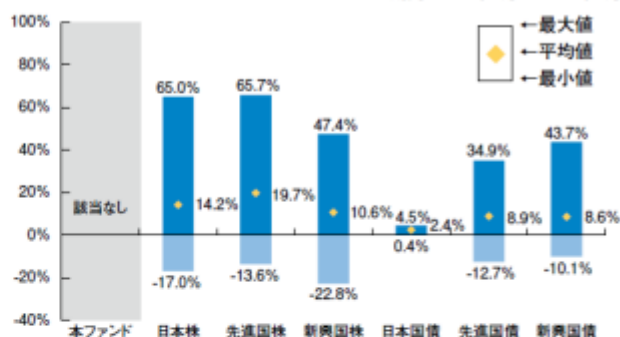
(3) 参考情報

積極プラン(年2回決算)**本ファンドの年間騰落率および
分配金再投資基準価額の推移**

本ファンドは2015年8月28日から運用を開始するため、有価証券届出書提出日(2015年8月7日)現在、該当事項はありません。

本ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

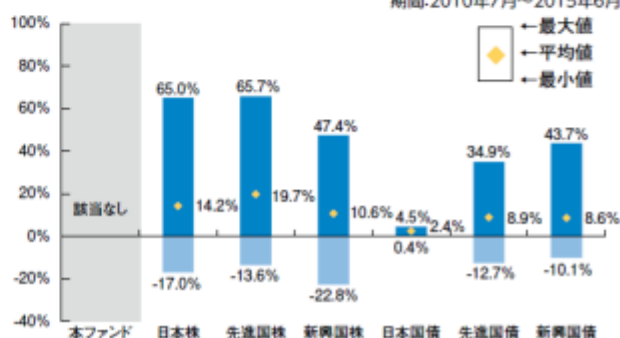
期間:2010年7月～2015年6月

**安定プラン(年2回決算)****本ファンドの年間騰落率および
分配金再投資基準価額の推移**

本ファンドは2015年8月28日から運用を開始するため、有価証券届出書提出日(2015年8月7日)現在、該当事項はありません。

本ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

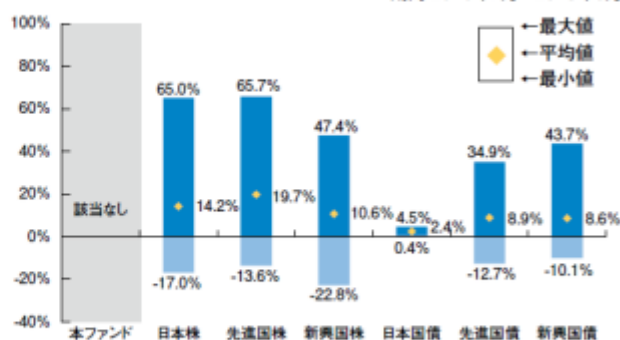
期間:2010年7月～2015年6月

**安定プラン(毎月決算)****本ファンドの年間騰落率および
分配金再投資基準価額の推移**

本ファンドは2015年8月28日から運用を開始するため、有価証券届出書提出日(2015年8月7日)現在、該当事項はありません。

本ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

期間:2010年7月～2015年6月



- ・本ファンドは2015年8月28日から運用を開始するため、上記グラフでは代表的な資産クラスについてのみ表示しています。
- ・全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。
- ・上記5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、代表的な資産クラスについて表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースまたは円換算ベースの指数を採用しております。

<訂正後>

<前略>

(3) 参考情報

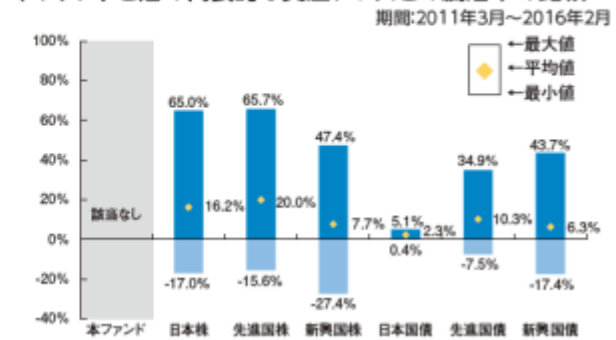
下記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

積極プラン(年2回決算)

本ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



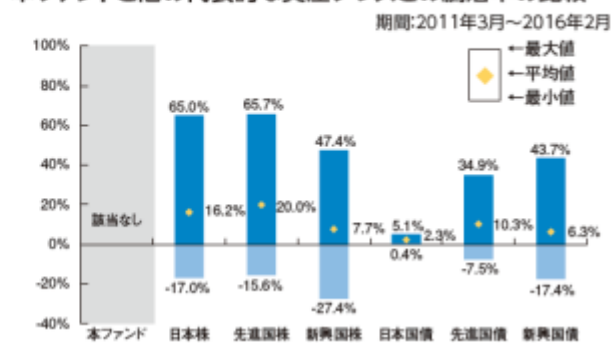
本ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

**安定プラン(年2回決算)**

本ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



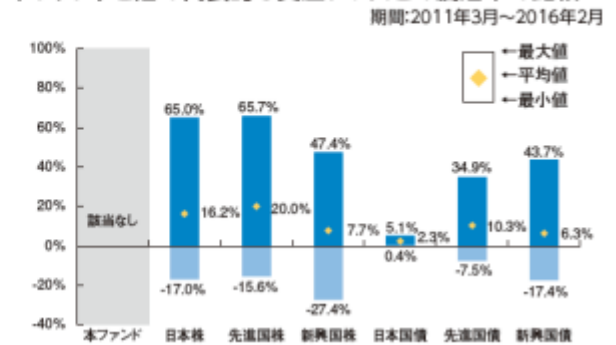
本ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較

**安定プラン(毎月決算)**

本ファンドの年間騰落率および分配金再投資基準価額の推移



本ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



全ての資産クラスが本ファンドの投資対象とは限りません。

上記のグラフは、過去5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

ファンドの設定日が2015年8月28日のため、左グラフの分配金再投資基準価額（月次）は2015年8月末以降のデータを表示しており、年間騰落率は各月末における直近1年間の騰落率の表示であるため該当データはありません。また、右グラフのファンドの騰落率については、設定日から1年未満であるため当該データがなく、代表的な資産クラスについてのみ表示しています。

各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円換算ベース）

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JPモルガン・ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット・グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースまたは円換算ベースの指数を採用しております。

4 手数料等及び税金

<訂正前>

<前略>

(5) 課税上の取扱い

<中略>

少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合

少額投資非課税制度（NISA）をご利用の場合、毎年、年間100万円の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。ご利用になれるのは、満20歳以上の方で、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方が対象となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<2016年1月1日以降>

少額投資非課税制度（NISA）をご利用の場合、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方を対象に、以下の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

- ・20歳以上の方・・・毎年、年間120万円まで
- ・20歳未満の方・・・毎年、年間80万円まで（2016年4月1日より）

<個別元本について>

<中略>

<収益分配金の課税について>

<中略>

個人の受益者に対する課税

<中略>

所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）は課税されません。収益分配金について上場株式等の配当等として確定申告を行う場合（申告分離課税を選択した場合に限ります。）、上場株式等の譲渡による損失（公募株式投資信託の買取差損・解約（償還）差損を含みます。）との損益通算が可能です。

<2016年1月1日以降>

収益分配金について上場株式等の配当等として確定申告を行う場合（申告分離課税を選択した場合に限ります。）、他の上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択したものに限ります。）および譲渡所得等ならびに特定公社債等（公募公社債投資信託を含みます。）の利子所得等および譲渡所得等との損益通算が可能です。

<中略>

<換金時および償還時の課税について>

個人の受益者に対する課税

<中略>

譲渡益が発生し課税される場合は、源泉徴収選択口座を用いなければ、源泉徴収は行われず、確定申告が必要となります。また、買取差損益および解約（償還）差損益を含めて上場株式等の譲渡損が発生した場合は、確定申告を行うことにより、上場株式等の配当等（申告分離課税を選択した場合に限ります。）との損益通算が可能です。

<2016年1月1日以降>

また、買取差損益および解約（償還）差損益を含めて上場株式等の譲渡損が発生した場合は、確定申告を行うことにより、他の上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択したものに限ります。）および譲渡所得等ならびに特定公社債等（公募公社債投資信託を含みます。）の利子所得等および譲渡所得等との損益通算が可能です。

<後略>

<訂正後>

<前略>

(5) 課税上の取扱い

< 中略 >

少額投資非課税制度「愛称：NISA（ニーサ）」をご利用の場合

少額投資非課税制度（NISA）をご利用の場合、販売会社で非課税口座を開設するなど、一定の条件に該当する方を対象に、以下の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が5年間非課税となります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

- ・20歳以上の方・・・毎年、年間120万円まで
- ・20歳未満の方・・・毎年、年間80万円まで

< 個別元本について >

< 中略 >

< 収益分配金の課税について >

< 中略 >

個人の受益者に対する課税

< 中略 >

所得税法上課税対象となるのは普通分配金のみであり、元本払戻金（特別分配金）は課税されません。収益分配金について上場株式等の配当等として確定申告を行う場合（申告分離課税を選択した場合に限ります。）、他の上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択したものに限ります。）および譲渡所得等ならびに特定公社債等（公募公社債投資信託を含みます。）の利子所得等および譲渡所得等との損益通算が可能です。

< 中略 >

< 換金時および償還時の課税について >

個人の受益者に対する課税

< 中略 >

譲渡益が発生し課税される場合は、源泉徴収選択口座を用いなければ、源泉徴収は行われず、確定申告が必要となります。また、買取差損益および解約（償還）差損益を含めて上場株式等の譲渡損が発生した場合は、確定申告を行うことにより、他の上場株式等の配当所得（申告分離課税を選択したものに限ります。）および譲渡所得等ならびに特定公社債等（公募公社債投資信託を含みます。）の利子所得等および譲渡所得等との損益通算が可能です。

< 後略 >

[次へ](#)

5 運用状況

原届出書の「第二部 ファンド情報 第1 ファンドの状況 5 運用状況」については、下記の内容に更新されます。

<訂正・更新後>

(1) 投資状況

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 積極プラン（年2回決算）>

（2016年2月29日現在）

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（%）
親投資信託受益証券	日本	72,670,339	100.04
現金・預金・その他の資産（負債控除後）		32,203	0.04
合計（純資産総額）		72,638,136	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン（年2回決算）>

（2016年2月29日現在）

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（%）
親投資信託受益証券	日本	122,714,198	100.04
現金・預金・その他の資産（負債控除後）		54,632	0.04
合計（純資産総額）		122,659,566	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン（毎月決算）>

（2016年2月29日現在）

資産の種類	国/地域	時価合計（円）	投資比率（%）
親投資信託受益証券	日本	67,388,196	100.04
現金・預金・その他の資産（負債控除後）		29,556	0.04
合計（純資産総額）		67,358,640	100.00

（注）投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

参考情報

<年金型投資戦略・積極マザーファンド>

(2016年2月29日現在)

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	アメリカ	485,172,459	10.72
	アイルランド	163,505,456	3.61
	小計	648,677,915	14.33
投資証券	ルクセンブルク	3,473,314,082	76.75
	アイルランド	16,209,267	0.36
	小計	3,489,523,349	77.10
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	-	387,574,713	8.57
合計(純資産総額)	-	4,525,775,977	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

<年金型投資戦略・安定マザーファンド>

(2016年2月29日現在)

資産の種類	国/地域	時価合計(円)	投資比率(%)
投資信託受益証券	アメリカ	277,163,798	5.50
	アイルランド	77,023,565	1.53
	小計	354,187,363	7.02
投資証券	ルクセンブルク	4,159,418,500	82.48
	アイルランド	14,035,423	0.28
	小計	4,173,453,923	82.76
現金・預金・その他の資産(負債控除後)	-	515,166,809	10.22
合計(純資産総額)	-	5,042,808,095	100.00

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

(2) 投資資産

投資有価証券の主要銘柄

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 積極プラン(年2回決算)>

(2016年2月29日現在)

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	親投資信託 受益証券	年金型投資戦略・積極マザー ファンド	78,895,168	0.9107	71,849,830	0.9211	72,670,339	100.04

種類別及び業種別投資比率

(2016年2月29日現在)

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	100.04
合計	100.04

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン(年2回決算)>

(2016年2月29日現在)

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	親投資信託 受益証券	年金型投資戦略・安定マザー ファンド	127,482,026	0.9557	121,834,573	0.9626	122,714,198	100.04

種類別及び業種別投資比率

(2016年2月29日現在)

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	100.04
合計	100.04

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン(毎月決算)>

(2016年2月29日現在)

順位	国/地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額 単価 (円)	帳簿価額 金額 (円)	評価額 単価 (円)	評価額 金額 (円)	投資 比率 (%)
1	日本	親投資信託 受益証券	年金型投資戦略・安定マザー ファンド	70,006,437	0.9558	66,913,921	0.9626	67,388,196	100.04

種類別及び業種別投資比率

(2016年2月29日現在)

種類	投資比率(%)
親投資信託受益証券	100.04
合計	100.04

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

参考情報

<年金型投資戦略・積極マザーファンド>

(2016年2月29日現在)

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額単価 (円)	帳簿価額金額 (円)	評価額単価 (円)	評価額金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ルクセンブルク	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル CORE エクイティ・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	823,298.315	1,126.88	927,764,569	1,062.34	874,628,494	19.33
2	ルクセンブルク	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・フィックス・インカム・ポートフォリオ(為替ヘッジあり) IXO シェアクラス	774,423.009	1,090.75	844,703,445	1,066.89	826,225,557	18.26
3	ルクセンブルク	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・スモール・キャップ CORE ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	368,656.986	1,095.60	403,901,074	1,005.53	370,698,239	8.19
4	ルクセンブルク	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・エクイティ・パートナーズ IOアキュムレーション・シェアクラス	362,371.33	1,160.15	420,405,686	1,005.53	364,377,780	8.05
5	ルクセンブルク	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・マクロ・ボンド・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	30,352.795	11,874.42	360,422,023	11,910.78	361,525,602	7.99
6	ルクセンブルク	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル&エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	151,354.815	2,016.75	305,245,579	2,041.75	309,028,905	6.83

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額単価 (円)	帳簿価額金額 (円)	評価額単価 (円)	評価額金額 (円)	投資 比率 (%)
7	ルクセンブルク	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	171,258.379	1,299.70	222,584,938	1,241.86	212,680,060	4.70
8	アイルランド	投資信託受益証券	ISHARES CORE EM IMI UCITS ET	76,996	2,344.53	180,519,529	2,123.55	163,505,456	3.61
9	ルクセンブルク	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	86,968.621	1,929.64	167,818,540	1,772.47	154,149,445	3.41
10	アメリカ	投資信託受益証券	ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTURE ETF	32,625	4,569.89	149,092,810	4,097.13	133,669,101	2.95
11	アメリカ	投資信託受益証券	SPDR DOW JONES REIT ETF	12,423	10,345.78	128,525,656	9,942.88	123,520,475	2.73
12	アメリカ	投資信託受益証券	ISHARES CURRENCY HEDGED MSCI EURO ETF	25,306	2,984.75	75,532,129	2,667.79	67,511,286	1.49
13	アメリカ	投資信託受益証券	SPDR DJ INTERNATIONAL REAL ETF	10,953	4,684.93	51,314,056	4,364.14	47,800,471	1.06
14	アメリカ	投資信託受益証券	ISHARES MSCI JAPAN ETF	33,661	1,259.25	42,387,945	1,256.63	42,299,665	0.93
15	アメリカ	投資信託受益証券	SPDR GOLD SHARES	2,352	11,674.32	27,458,021	13,306.03	31,295,802	0.69
16	アメリカ	投資信託受益証券	SPDR S&P BANK ETF	6,548	3,195.81	20,926,188	3,291.57	21,553,210	0.48
17	アメリカ	投資信託受益証券	ISHARES MSCI INDIA ETF	6,488	3,418.82	22,181,342	2,700.74	17,522,449	0.39
18	アイルランド	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ・ビーエルシー - ゴールドマン・サックス US \$リキッド・リザーブズ・ファンズ X アキュムレーション・シェアクラス	14.227	1,137,081.67	16,177,261	1,139,331.34	16,209,267	0.36

種類別及び業種別投資比率

(2016年2月29日現在)

種類	投資比率 (%)
投資信託受益証券	14.33
投資証券	77.10
合計	91.44

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

<年金型投資戦略・安定マザーファンド>

(2016年2月29日現在)

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額単価 (円)	帳簿価額金額 (円)	評価額単価 (円)	評価額金額 (円)	投資 比率 (%)
1	ルクセンブルク	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・フィックス・インカム・ポートフォリオ(為替ヘッジあり) IOアキュムレーション・シェアクラス	2,342,423.853	1,090.75	2,555,003,502	1,066.89	2,499,112,800	49.56
2	ルクセンブルク	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル CORE エクイティ・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	439,979.338	1,118.95	492,316,500	1,062.34	467,410,730	9.27
3	ルクセンブルク	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・マクロ・ボンド・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	27,063.647	11,883.31	321,605,875	11,910.78	322,349,269	6.39
4	ルクセンブルク	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・クレジット・ポートフォリオ(為替ヘッジあり) IOアキュムレーション・シェアクラス	171,657.59	1,255.24	215,472,231	1,257.77	215,906,350	4.28
5	ルクセンブルク	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・スモール・キャップ CORE ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	194,857.402	1,082.64	210,960,723	1,005.53	195,936,326	3.89
6	ルクセンブルク	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・エクイティ・パートナーズ IOアキュムレーション・シェアクラス	183,256.992	1,130.19	207,116,179	1,005.53	184,271,685	3.65

順位	国/ 地域	種類	銘柄名	数量又は 額面総額	帳簿価額単価 (円)	帳簿価額金額 (円)	評価額単価 (円)	評価額金額 (円)	投資 比率 (%)
7	ルクセンブルク	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	92,510.972	1,291.25	119,455,372	1,241.86	114,886,286	2.28
8	ルクセンブルク	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・マーケット・デット・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	51,866.425	2,017.66	104,649,302	2,041.75	105,898,345	2.10
9	アメリカ	投資信託受益証券	ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTURE ETF	21,052	4,528.92	95,342,936	4,097.13	86,252,932	1.71
10	アイルランド	投資信託受益証券	ISHARES CORE EM IMI UCITS ET	36,271	2,307.34	83,689,731	2,123.55	77,023,565	1.53
11	アメリカ	投資信託受益証券	SPDR DOW JONES REIT ETF	5,873	10,228.79	60,073,741	9,942.88	58,394,571	1.16
12	ルクセンブルク	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	30,266.605	1,883.73	57,014,359	1,772.47	53,646,709	1.06
13	アメリカ	投資信託受益証券	ISHARES CURRENCY HEDGED MSCI EURO ETF	19,028	2,962.55	56,371,490	2,667.79	50,762,853	1.01
14	アメリカ	投資信託受益証券	ISHARES MSCI JAPAN ETF	25,492	1,258.73	32,087,745	1,256.63	32,034,195	0.64
15	アメリカ	投資信託受益証券	SPDR GOLD SHARES	1,685	11,674.83	19,672,105	13,306.03	22,420,674	0.44
16	アメリカ	投資信託受益証券	SPDR S&P BANK ETF	5,009	3,191.50	15,986,253	3,291.57	16,487,481	0.33
17	アイルランド	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ・ビーエルシー - ゴールドマン・サックス US \$リキッド・リザーブズ・ファンド X アキュムレーション・シェアクラス	12.319	1,137,081.66	14,007,709	1,139,331.35	14,035,423	0.28
18	アメリカ	投資信託受益証券	ISHARES MSCI INDIA ETF	4,003	3,418.82	13,685,560	2,700.74	10,811,092	0.21

種類別及び業種別投資比率

(2016年2月29日現在)

種類	投資比率(%)
投資信託受益証券	7.02
投資証券	82.76
合計	89.78

(注) 投資比率とは、ファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

投資不動産物件

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 積極プラン(年2回決算)>
(2016年2月29日現在)
該当事項はありません。

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン(年2回決算)>
(2016年2月29日現在)
該当事項はありません。

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン(毎月決算)>
(2016年2月29日現在)
該当事項はありません。

参考情報

<年金型投資戦略・積極マザーファンド>
(2016年2月29日現在)
該当事項はありません。

<年金型投資戦略・安定マザーファンド>
(2016年2月29日現在)
該当事項はありません。

その他投資資産の主要なもの

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 積極プラン(年2回決算)>
(2016年2月29日現在)
該当事項はありません。

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン(年2回決算)>
(2016年2月29日現在)
該当事項はありません。

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン(毎月決算)>
(2016年2月29日現在)
該当事項はありません。

参考情報

<年金型投資戦略・積極マザーファンド>
(2016年2月29日現在)
該当事項はありません。

<年金型投資戦略・安定マザーファンド>
(2016年2月29日現在)
該当事項はありません。

(3) 運用実績

純資産の推移

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 積極プラン（年2回決算）>

2016年2月29日及び同日前1年以内における各月末ならびに下記計算期末の純資産の推移は次の通りです。

期別	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり 純資産額(円) (分配落)	1口当たり 純資産額(円) (分配付)
第1計算期間末(2016年2月19日)	71	71	0.9376	0.9376
2015年8月末日	23	-	0.9999	-
9月末日	55	-	0.9659	-
10月末日	63	-	1.0143	-
11月末日	64	-	1.0189	-
12月末日	74	-	1.0007	-
2016年1月末日	72	-	0.9557	-
2月末日	72	-	0.9479	-

(注) 表中の末日とはその月の最終営業日を指します。

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン（年2回決算）>

2016年2月29日及び同日前1年以内における各月末ならびに下記計算期末の純資産の推移は次の通りです。

期別	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり 純資産額(円) (分配落)	1口当たり 純資産額(円) (分配付)
第1計算期間末(2016年2月19日)	121	121	0.9726	0.9726
2015年8月末日	20	-	0.9999	-
9月末日	116	-	0.9830	-
10月末日	138	-	1.0095	-
11月末日	139	-	1.0118	-
12月末日	139	-	1.0004	-
2016年1月末日	137	-	0.9806	-
2月末日	122	-	0.9792	-

(注) 表中の末日とはその月の最終営業日を指します。

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン(毎月決算)>

2016年2月29日及び同日前1年以内における各月末ならびに下記特定期間末の純資産の推移は次の通りです。

期別	純資産総額 (百万円) (分配落)	純資産総額 (百万円) (分配付)	1口当たり 純資産額(円) (分配落)	1口当たり 純資産額(円) (分配付)
第1特定期間末(2016年2月19日)	64	65	0.9652	0.9677
2015年8月末日	7	-	0.9999	-
9月末日	48	-	0.9829	-
10月末日	57	-	1.0094	-
11月末日	57	-	1.0117	-
12月末日	66	-	0.9978	-
2016年1月末日	65	-	0.9756	-
2月末日	67	-	0.9718	-

(注) 表中の末日とはその月の最終営業日を指します。

分配の推移

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 積極プラン（年2回決算）>

期	期間	1口当たりの分配金（円）
第1計算期間	2015年8月28日～2016年2月19日	0.0000

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン（年2回決算）>

期	期間	1口当たりの分配金（円）
第1計算期間	2015年8月28日～2016年2月19日	0.0000

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン（毎月決算）>

期	期間	1口当たりの分配金（円）
第1特定期間	2015年8月28日～2016年2月19日	0.0075

収益率の推移

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 積極プラン（年2回決算）>

期	期間	収益率（％）
第1計算期間	2015年8月28日～2016年2月19日	6.2

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン（年2回決算）>

期	期間	収益率（％）
第1計算期間	2015年8月28日～2016年2月19日	2.7

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン（毎月決算）>

期	期間	収益率（％）
第1特定期間	2015年8月28日～2016年2月19日	2.7

(4) 設定及び解約の実績

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 積極プラン（年2回決算）>

下記計算期間中の設定及び解約の実績ならびに当該計算期末の発行済み口数は次の通りです。

期	期間	設定口数（口）	解約口数（口）	発行済み口数（口）
第1計算期間	2015年8月28日～2016年2月19日	79,786,586	3,152,062	76,634,524

(注) 設定口数には当初募集期間中の設定口数を含みます。

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン（年2回決算）>

下記計算期間中の設定及び解約の実績ならびに当該計算期末の発行済み口数は次の通りです。

期	期間	設定口数（口）	解約口数（口）	発行済み口数（口）
第1計算期間	2015年8月28日～2016年2月19日	139,945,634	14,682,851	125,262,783

(注) 設定口数には当初募集期間中の設定口数を含みます。

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン（毎月決算）>

下記特定期間中の設定及び解約の実績ならびに当該特定期間末の発行済み口数は次の通りです。

期	期間	設定口数（口）	解約口数（口）	発行済み口数（口）
第1特定期間	2015年8月28日～2016年2月19日	67,249,725	-	67,249,725

(注) 設定口数には当初募集期間中の設定口数を含みます。

[次へ](#)

（参考）運用実績

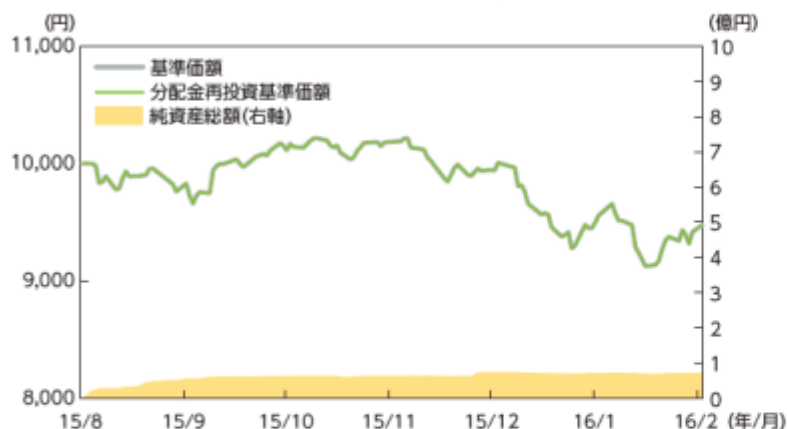
最新の運用実績は委託会社のホームページまたは販売会社でご確認いただけます。

下記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

2016年2月29日現在

積極プラン(年2回決算)

基準価額・純資産の推移 2015年8月28日(設定日)～2016年2月29日



● 分配金再投資基準価額および期間別騰落率(分配金再投資)とは、本ファンドの決算時に収益の分配があった場合に、その分配金(税引前)で本ファンドを購入(再投資)した場合の基準価額および騰落率です。● 基準価額および分配金再投資基準価額は、1万口当たりの値です。

基準価額・純資産総額

基準価格	9,479円
純資産総額	0.7億円

期間別騰落率(分配金再投資)

期間	ファンド
1ヵ月	-0.82%
3ヵ月	-6.97%
6ヵ月	-5.20%
1年	—
3年	—
5年	—
設定来	-5.21%

分配の推移(1万口当たり、税引前)

決算日	—	—	—	—	16/2/19	直近1年累計	設定来累計
分配金	—	—	—	—	0円	0円	0円

● 運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

主要な資産の状況

資産区分	ファンド名称	配分比率
1 先進国株式	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル CORE エクイティ・ポートフォリオ	19.3%
2 先進国債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・フィックス・インカム・ポートフォリオ	18.3%
3 グローバル小型株式	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・スモール・キャップ CORE ポートフォリオ	8.2%
4 先進国株式	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・エクイティ・パートナーズ	8.1%
5 ヘッジファンド	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・マクロ・ボンド・ポートフォリオ	8.0%
6 新興国債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・エマーゼン・マーケット・ポートフォリオ	6.8%
7 新興国債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・エマーゼン・マーケット・ローカル・ポートフォリオ	4.7%
8 新興国株式	iシェアーズ・コア MSCI エマーゼン・マーケット IMI UCITS ETF	3.6%
9 ハイ・イールド債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオ	3.4%
10 インフラ	iシェアーズ・グローバル・インフラストラクチャー ETF	3.0%

年間収益率の推移



● 本ファンドの収益率は、分配金(税引前)を再投資したものと算出しています。
● 本ファンドにベンチマークはありませんので、ファンド設定日前の年間収益率について記載していません。
● 2015年は設定日(8月28日)から年末までの騰落率、2016年は1月から2月末までの騰落率を表示しています。

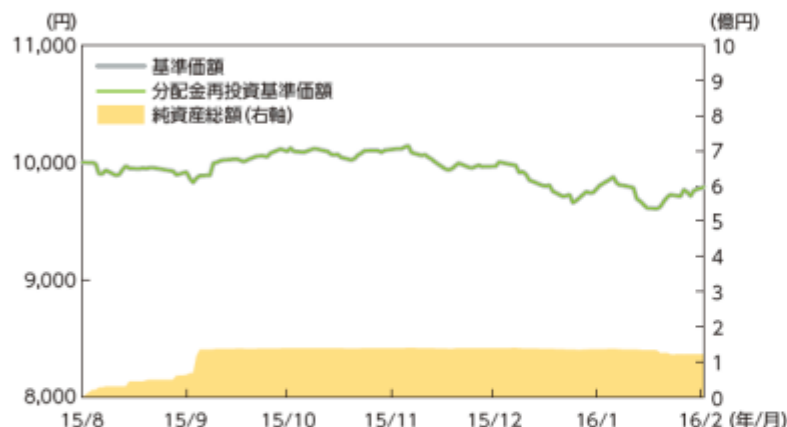
最新の運用実績は委託会社のホームページまたは販売会社でご確認いただけます。

下記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

2016年2月29日現在

安定プラン(年2回決算)

基準価額・純資産の推移 2015年8月28日(設定日)～2016年2月29日



基準価額・純資産総額

基準価格	9,792円
純資産総額	1.2億円

期間別騰落率(分配金再投資)

期間	ファンド
1ヵ月	-0.14%
3ヵ月	-3.22%
6ヵ月	-2.07%
1年	—
3年	—
5年	—
設定来	-2.08%

● 分配金再投資基準価額および期間別騰落率(分配金再投資)とは、本ファンドの決算時に収益の分配があった場合に、その分配金(税引前)で本ファンドを購入(再投資)した場合の基準価額および騰落率です。● 基準価額および分配金再投資基準価額は、1万口当たりの値です。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

決算日	—	—	—	—	16/2/19	直近1年累計	設定来累計
分配金	—	—	—	—	0円	0円	0円

● 運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

主要な資産の状況

	資産区分	ファンド名称	配分比率
1	先進国債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・フィクスト・インカム・ポートフォリオ	49.6%
2	先進国株式	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル CORE エクイティ・ポートフォリオ	9.3%
3	ヘッジファンド	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・マクロ・ボンド・ポートフォリオ	6.4%
4	グローバル社債	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・クレジット・ポートフォリオ	4.3%
5	グローバル小型株式	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・スモール・キャップ CORE ポートフォリオ	3.9%
6	先進国株式	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・エクイティ・パートナーズ	3.7%
7	新興国債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グロース&エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ	2.3%
8	新興国債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グロース&エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ	2.1%
9	インフラ	iシェアーズ・グローバル・インフラストラクチャー ETF	1.7%
10	新興国株式	iシェアーズ・コア MSCI エマージング・マーケット IMI UCITS ETF	1.5%

年間収益率の推移



● 本ファンドの収益率は、分配金(税引前)を再投資したものととして算出しています。
● 本ファンドにベンチマークはありませんので、ファンド設定日前の年間収益率について記載しておりません。
● 2015年は設定日(8月28日)から年末までの騰落率、2016年は1月から2月末までの騰落率を表示しています。

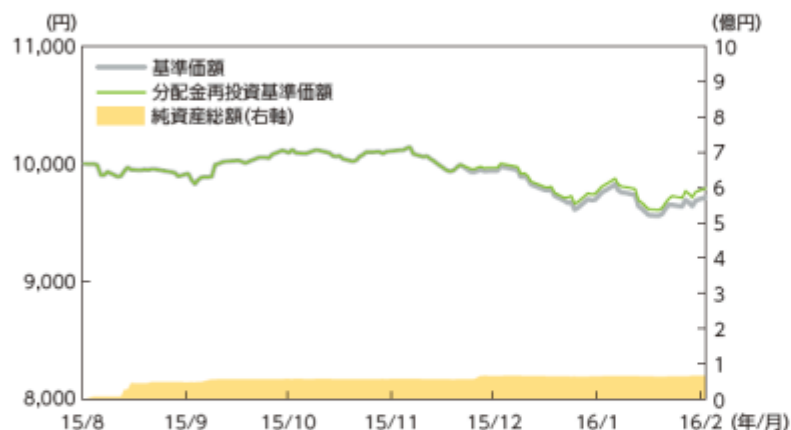
最新の運用実績は委託会社のホームページまたは販売会社でご確認いただけます。

下記は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。

2016年2月29日現在

安定プラン(毎月決算)

基準価額・純資産の推移 2015年8月28日(設定日)～2016年2月29日



基準価額・純資産総額

基準価格	9,718円
純資産総額	0.7億円

期間別騰落率(分配金再投資)

期間	ファンド
1ヵ月	-0.13%
3ヵ月	-3.20%
6ヵ月	-2.06%
1年	—
3年	—
5年	—
設定来	-2.07%

● 分配金再投資基準価額および期間別騰落率(分配金再投資)とは、本ファンドの決算時に収益の分配があった場合に、その分配金(税引前)で本ファンドを購入(再投資)した場合の基準価額および騰落率です。● 基準価額および分配金再投資基準価額は、1万口当たりの値です。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

決算日	—	—	15/12/21	16/1/19	16/2/19	直近1年累計	設定来累計
分配金	—	—	25円	25円	25円	75円	75円

● 運用状況によっては、分配金の金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

主要な資産の状況

	資産区分	ファンド名称	配分比率
1	先進国債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・フィックス・インカム・ポートフォリオ	49.6%
2	先進国株式	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル CORE エクイティ・ポートフォリオ	9.3%
3	ヘッジファンド	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・マクロ・ボンド・ポートフォリオ	6.4%
4	グローバル社債	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・クレジット・ポートフォリオ	4.3%
5	グローバル小型株式	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・スモール・キャップ CORE ポートフォリオ	3.9%
6	先進国株式	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グローバル・エクイティ・パートナーズ	3.7%
7	新興国債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グロース&エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ	2.3%
8	新興国債券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. ゴールドマン・サックス・グロース&エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ	2.1%
9	インフラ	iシェアーズ・グローバル・インフラストラクチャー ETF	1.7%
10	新興国株式	iシェアーズ・コア MSCI エマージング・マーケット IMI UCITS ETF	1.5%

年間収益率の推移



● 本ファンドの収益率は、分配金(税引前)を再投資したものととして算出しています。
● 本ファンドにベンチマークはありませんので、ファンド設定日前の年間収益率について記載しておりません。
● 2015年は設定日(8月28日)から年末までの騰落率を、2016年は1月から2月末までの騰落率表示しています。

第2【管理及び運営】

1 申込（販売）手続等

<訂正前>

(1) 受益権の取得申込者は、販売会社において取引口座を開設のうえ、お買付のお申込みを行うものとします。

当初申込期間におけるお買付は、営業時間内においていつでも、販売会社に対してお申込みいただくことができます。

継続申込期間におけるお買付のお申込みは、販売会社所定の方法により、毎営業日*¹受け付けます。毎営業日の午後3時*²までに、お買付のお申込みが行われかつ当該お申込みの受付に係る販売会社所定の事務手続が完了したものを当日の申込分とします。当日の受付終了後のお申込みについては、翌営業日のお取扱いとします。

<中略>

(3) お買付価額は、当初申込期間においては1口当たり1円、継続申込期間においては取得申込日の翌営業日の基準価額とします。また、お買付には申込手数料および当該申込手数料に係る消費税等相当額がかかります。ただし、自動けいぞく投資契約に基づいて収益分配金を再投資する場合は、各計算期間終了日の基準価額とします。最新の基準価額は販売会社または下記の照会先で入手可能です。

<中略>

(5) 当初申込期間におけるお買付代金は、当初申込期間中にお申込みの販売会社にお支払いください。継続申込期間におけるお買付代金はお申込みの販売会社にお支払いください。お買付代金の払込期日は販売会社によって異なります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<後略>

<訂正後>

(1) 受益権の取得申込者は、販売会社において取引口座を開設のうえ、お買付のお申込みを行うものとします。

お買付のお申込みは、販売会社所定の方法により、毎営業日*¹受け付けます。毎営業日の午後3時*²までに、お買付のお申込みが行われかつ当該お申込みの受付に係る販売会社所定の事務手続が完了したものを当日の申込分とします。当日の受付終了後のお申込みについては、翌営業日のお取扱いとします。

<中略>

(3) お買付価額は、取得申込日の翌営業日の基準価額とします。また、お買付には申込手数料および当該申込手数料に係る消費税等相当額がかかります。ただし、自動けいぞく投資契約に基づいて収益分配金を再投資する場合は、各計算期間終了日の基準価額とします。最新の基準価額は販売会社または下記の照会先で入手可能です。

<中略>

(5) お買付代金はお申込みの販売会社にお支払いください。お買付代金の払込期日は販売会社によって異なります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

<後略>

3 資産管理等の概要

<訂正前>

<前略>

(5) その他

<中略>

j. 一部解約の請求および有価証券売却等の指図

委託会社は、信託財産に属するマザーファンドの受益証券および外国投資信託の受益証券にかかる信託契約の一部解約の請求、外国投資証券にかかる買戻し請求、外国投資証券の償還の請求および有価証券の売却等の指図ができます。

<後略>

<訂正後>

<前略>

(5) その他

<中略>

j. 一部解約の請求および有価証券売却等の指図

委託会社は、信託財産に属するマザーファンドの受益証券ならびに外国投資信託の受益証券にかかる信託契約の一部解約の請求、外国投資証券にかかる買戻し請求、外国投資証券の償還の請求および有価証券の売却等（マザーファンドの信託財産に属するものを含みます。）の指図ができます。

<後略>

第3【ファンドの経理状況】

原届出書の「第二部 ファンド情報 第3 ファンドの経理状況」については、以下の内容に更新されます。

<訂正・更新後>

- (1) 日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 積極プラン（年2回決算）、日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン（年2回決算）、日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン（毎月決算）の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づき作成しております。
なお、財務諸表に掲載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 積極プラン（年2回決算）及び安定プラン（年2回決算）の計算期間は6ヵ月であるため、財務諸表は6ヵ月毎に作成しております。
- (3) 安定プラン（毎月決算）の計算期間は6ヵ月未満であるため、財務諸表は6ヵ月毎に作成しております。
- (4) 積極プラン（年2回決算）及び安定プラン（年2回決算）は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1期計算期間（平成27年8月28日（設定日）から平成28年2月19日まで）の財務諸表について、PwCあらた監査法人による監査を受けております。
- (5) 安定プラン（毎月決算）は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当特定期間（平成27年8月28日（設定日）から平成28年2月19日まで）の財務諸表について、PwCあらた監査法人による監査を受けております。

1【財務諸表】

【日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 積極プラン（年2回決算）】

(1)【貸借対照表】

(単位：円)

		第1期
		(平成28年2月19日現在)
資産の部		
流動資産		
親投資信託受益証券		72,329,333
流動資産合計		72,329,333
資産合計		72,329,333
負債の部		
流動負債		
未払受託者報酬		7,990
未払委託者報酬		447,579
その他未払費用		23,934
流動負債合計		479,503
負債合計		479,503
純資産の部		
元本等		
元本		76,634,524
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()		4,784,694
(分配準備積立金)		150,728
元本等合計		71,849,830
純資産合計		71,849,830
負債純資産合計		72,329,333

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第 1 期 自 平成27年 8 月28日 至 平成28年 2 月19日
営業収益	
受取利息	24
有価証券売買等損益	3,599,386
営業収益合計	3,599,362
営業費用	
受託者報酬	7,990
委託者報酬	447,579
その他費用	23,934
営業費用合計	479,503
営業利益又は営業損失 ()	4,078,865
経常利益又は経常損失 ()	4,078,865
当期純利益又は当期純損失 ()	4,078,865
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額 ()	63,462
期首剰余金又は期首欠損金 ()	-
剰余金増加額又は欠損金減少額	22,733
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	22,733
剰余金減少額又は欠損金増加額	665,100
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	665,100
分配金	-
期末剰余金又は期末欠損金 ()	4,784,694

[次へ](#)

(3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	第1期
	自 平成27年8月28日 至 平成28年2月19日
有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、親投資信託 受益証券の基準価額で評価しており ます。

(貸借対照表に関する注記)

区分	第1期
	(平成28年2月19日現在)
1. 元本の推移	
期首元本額	23,569,233円
期中追加設定元本額	56,217,353円
期中一部解約元本額	3,152,062円
2. 受益権の総数	76,634,524口
3. 元本の欠損	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は4,784,694円であります。

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

区分	第1期
	自 平成27年8月28日 至 平成28年2月19日
分配金の計算過程	
費用控除後の配当等収益額	150,728円
費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益額	- 円
収益調整金額	107,901円
分配準備積立金額	- 円
本ファンドの分配対象収益額	258,629円
本ファンドの期末残存口数	76,634,524口
1口当たり収益分配対象額	0.003374円
1口当たり分配金額	- 円
収益分配金金額	- 円

(注) 上記の費用控除後の配当等収益額は本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含んでおります。

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

区分	第1期 自 平成27年8月28日 至 平成28年2月19日
<p>1. 金融商品に対する取組方針</p> <p>2. 金融商品の内容及びそのリスク</p> <p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>本ファンドは証券投資信託として、有価証券等への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。</p> <p>本ファンドが保有する主な金融資産は親投資信託受益証券であり、売買目的で保有しております。</p> <p>投資対象とする金融商品の主なリスクは価格が変動する事によって発生する市場リスク、金融商品の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合に発生する信用リスク、及び金融商品の取引量が著しく乏しい場合に発生する流動性リスクがあります。</p> <p>コンプライアンス部門ならびにオペレーション部門では、運用チームから独立した立場で、法令や信託約款等に実際の売買取引が則っているか、また日々のポジションのモニタリングを行っております。</p> <p>マーケット・リスク管理専任部門では、運用チームとは独立した立場で、運用チームにより構築されたポジションのリスク水準をモニタリングし、各運用チーム、リスク検討委員会に報告します。</p> <p>リスク検討委員会は、法務部・コンプライアンス部を含む各部署の代表から構成されており、マーケット・リスク管理専任部門からの報告事項に対して、必要な報告聴取、調査、検討、決定等を月次で行います。</p>

金融商品の時価等に関する事項

区分	第1期 自 平成27年8月28日 至 平成28年2月19日
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	金融商品は時価で計上しているため記載を省略しております。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券以外の金融商品 有価証券以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。 (2) 有価証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	第1期 (平成28年2月19日現在)
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
親投資信託受益証券	3,656,969
合計	3,656,969

（デリバティブ取引等に関する注記）

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

区分	第1期 (平成28年2月19日現在)
1口当たり純資産額	0.9376円

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

(4) 附属明細表

有価証券明細表

(ア) 株式

該当事項はありません。

(イ) 株式以外の有価証券

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
日本円	親投資信託 受益証券	年金型投資戦略・積極マザーファンド	79,421,690	72,329,333	
合計			79,421,690	72,329,333	

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン(年2回決算)】

(1) 【貸借対照表】

(単位:円)

		第1期 (平成28年2月19日現在)
資産の部		
流動資産		
親投資信託受益証券		122,763,487
未収入金		4,853,926
流動資産合計		127,617,413
資産合計		127,617,413
負債の部		
流動負債		
未払解約金		4,853,926
未払受託者報酬		15,475
未払委託者報酬		866,469
その他未払費用		46,971
流動負債合計		5,782,841
負債合計		5,782,841
純資産の部		
元本等		
元本		125,262,783
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金()		3,428,211
(分配準備積立金)		1,997,475
元本等合計		121,834,572
純資産合計		121,834,572
負債純資産合計		127,617,413

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第 1 期 自 平成27年 8 月28日 至 平成28年 2 月19日
営業収益	
受取利息	21
有価証券売買等損益	1,745,568
営業収益合計	1,745,547
営業費用	
受託者報酬	15,475
委託者報酬	866,469
その他費用	46,971
営業費用合計	928,915
営業利益又は営業損失 ()	2,674,462
経常利益又は経常損失 ()	2,674,462
当期純利益又は当期純損失 ()	2,674,462
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額 ()	376,496
期首剰余金又は期首欠損金 ()	-
剰余金増加額又は欠損金減少額	132,430
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	132,430
剰余金減少額又は欠損金増加額	1,262,675
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	1,262,675
分配金	-
期末剰余金又は期末欠損金 ()	3,428,211

[次へ](#)

(3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	第1期
	自 平成27年 8月28日 至 平成28年 2月19日
有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、親投資信託 受益証券の基準価額で評価しており ます。

(貸借対照表に関する注記)

区分	第1期
	(平成28年 2月19日現在)
1. 元本の推移	
期首元本額	20,702,822円
期中追加設定元本額	119,242,812円
期中一部解約元本額	14,682,851円
2. 受益権の総数	125,262,783口
3. 元本の欠損	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は3,428,211円であります。

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

区分	第1期
	自 平成27年 8月28日 至 平成28年 2月19日
分配金の計算過程	
費用控除後の配当等収益額	1,997,475円
費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益額	- 円
収益調整金額	495,202円
分配準備積立金額	- 円
本ファンドの分配対象収益額	2,492,677円
本ファンドの期末残存口数	125,262,783口
1口当たり収益分配対象額	0.019899円
1口当たり分配金額	- 円
収益分配金金額	- 円

(注) 上記の費用控除後の配当等収益額は本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含んでおります。

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

区分	第1期 自 平成27年8月28日 至 平成28年2月19日
<p>1. 金融商品に対する取組方針</p> <p>2. 金融商品の内容及びそのリスク</p> <p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>本ファンドは証券投資信託として、有価証券等への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。</p> <p>本ファンドが保有する主な金融資産は親投資信託受益証券であり、売買目的で保有しております。</p> <p>投資対象とする金融商品の主なリスクは価格が変動する事によって発生する市場リスク、金融商品の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合に発生する信用リスク、及び金融商品の取引量が著しく乏しい場合に発生する流動性リスクがあります。</p> <p>コンプライアンス部門ならびにオペレーション部門では、運用チームから独立した立場で、法令や信託約款等に実際の売買取引が則っているか、また日々のポジションのモニタリングを行っております。</p> <p>マーケット・リスク管理専任部門では、運用チームとは独立した立場で、運用チームにより構築されたポジションのリスク水準をモニタリングし、各運用チーム、リスク検討委員会に報告します。</p> <p>リスク検討委員会は、法務部・コンプライアンス部を含む各部署の代表から構成されており、マーケット・リスク管理専任部門からの報告事項に対して、必要な報告聴取、調査、検討、決定等を月次で行います。</p>

金融商品の時価等に関する事項

区分	第1期 自 平成27年8月28日 至 平成28年2月19日
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	金融商品は時価で計上しているため記載を省略しております。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券以外の金融商品 有価証券以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。 (2) 有価証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	第1期 (平成28年2月19日現在)
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
親投資信託受益証券	1,438,686
合計	1,438,686

（デリバティブ取引等に関する注記）

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

区分	第1期 (平成28年2月19日現在)
1口当たり純資産額	0.9726円

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

(4) 附属明細表

有価証券明細表

(ア) 株式

該当事項はありません。

(イ) 株式以外の有価証券

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
日本円	親投資信託 受益証券	年金型投資戦略・安定マザーファンド	128,454,000	122,763,487	
合計			128,454,000	122,763,487	

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

【日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン（毎月決算）】

（１）【貸借対照表】

（単位：円）

		当期 (平成28年2月19日現在)
資産の部		
流動資産		
親投資信託受益証券		65,169,595
流動資産合計		65,169,595
資産合計		65,169,595
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金		168,124
未払受託者報酬		1,485
未払委託者報酬		83,186
その他未払費用		5,486
流動負債合計		258,281
負債合計		258,281
純資産の部		
元本等		
元本		67,249,725
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金（　）		2,338,411
（分配準備積立金）		384,692
元本等合計		64,911,314
純資産合計		64,911,314
負債純資産合計		65,169,595

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	当期 自 平成27年 8月28日 至 平成28年 2月19日
営業収益	
受取利息	8
有価証券売買等損益	902,515
営業収益合計	902,507
営業費用	
受託者報酬	7,140
委託者報酬	399,903
その他費用	21,463
営業費用合計	428,506
営業利益又は営業損失()	1,331,013
経常利益又は経常損失()	1,331,013
当期純利益又は当期純損失()	1,331,013
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解 約に伴う当期純損失金額の分配額()	-
期首剰余金又は期首欠損金()	-
剰余金減少額又は欠損金増加額	530,646
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加 額	530,646
分配金	476,752
期末剰余金又は期末欠損金()	2,338,411

[次へ](#)

(3) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	当期 自 平成27年 8月28日 至 平成28年 2月19日
有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき、親投資信託 受益証券の基準価額で評価しており ます。

(貸借対照表に関する注記)

区分	当期 (平成28年 2月19日現在)
1. 元本の推移	
期首元本額	7,494,059円
期中追加設定元本額	59,755,666円
期中一部解約元本額	0円
2. 受益権の総数	67,249,725口
3. 元本の欠損	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は2,338,411円であり ます。

（損益及び剰余金計算書に関する注記）

区分	当期	
	自 平成27年 8月28日	至 平成28年 2月19日
分配金の計算過程		
	平成27年 8月28日から 平成27年12月21日までの計算期間	
費用控除後の配当等収益額	436,694円	
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	- 円	
収益調整金額	204,404円	
分配準備積立金額	- 円	
本ファンドの分配対象収益額	641,098円	
本ファンドの期末残存口数	56,774,855口	
1口当たり収益分配対象額	0.011291円	
1口当たり分配金額	0.0025円	
収益分配金金額	141,937円	
	平成27年12月22日から 平成28年 1月19日までの計算期間	
費用控除後の配当等収益額	230,612円	
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	- 円	
収益調整金額	338,340円	
分配準備積立金額	294,757円	
本ファンドの分配対象収益額	863,709円	
本ファンドの期末残存口数	66,676,507口	
1口当たり収益分配対象額	0.012953円	
1口当たり分配金額	0.0025円	
収益分配金金額	166,691円	
	平成28年 1月20日から 平成28年 2月19日までの計算期間	
費用控除後の配当等収益額	194,138円	
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	- 円	
収益調整金額	346,798円	
分配準備積立金額	358,678円	
本ファンドの分配対象収益額	899,614円	
本ファンドの期末残存口数	67,249,725口	
1口当たり収益分配対象額	0.013377円	
1口当たり分配金額	0.0025円	
収益分配金金額	168,124円	

（注）上記の費用控除後の配当等収益額は本ファンドに帰属すべき親投資信託の配当等収益を含んでおります。

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

区分	当期 自 平成27年8月28日 至 平成28年2月19日
1．金融商品に対する取組方針 2．金融商品の内容及びそのリスク 3．金融商品に係るリスク管理体制	<p>本ファンドは証券投資信託として、有価証券等への投資を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。</p> <p>本ファンドが保有する主な金融資産は親投資信託受益証券であり、売買目的で保有しております。</p> <p>投資対象とする金融商品の主なリスクは価格が変動する事によって発生する市場リスク、金融商品の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合に発生する信用リスク、及び金融商品の取引量が著しく乏しい場合に発生する流動性リスクがあります。</p> <p>コンプライアンス部門ならびにオペレーション部門では、運用チームから独立した立場で、法令や信託約款等に実際の売買取引が則っているか、また日々のポジションのモニタリングを行っております。</p> <p>マーケット・リスク管理専任部門では、運用チームとは独立した立場で、運用チームにより構築されたポジションのリスク水準をモニタリングし、各運用チーム、リスク検討委員会に報告します。</p> <p>リスク検討委員会は、法務部・コンプライアンス部を含む各部署の代表から構成されており、マーケット・リスク管理専任部門からの報告事項に対して、必要な報告聴取、調査、検討、決定等を月次で行います。</p>

金融商品の時価等に関する事項

区分	当期
	自 平成27年8月28日 至 平成28年2月19日
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額	金融商品は時価で計上しているため記載を省略しております。
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券以外の金融商品 有価証券以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。 (2) 有価証券 「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	当期 (平成28年2月19日現在)
	最終の計算期間の損益に含まれた評価差額 (円)
親投資信託受益証券	155,359
合計	155,359

（デリバティブ取引等に関する注記）

該当事項はありません。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（1口当たり情報）

区分	当期 （平成28年2月19日現在）
1口当たり純資産額	0.9652円

（重要な後発事象に関する注記）

該当事項はありません。

（4）附属明細表

有価証券明細表

（ア）株式

該当事項はありません。

（イ）株式以外の有価証券

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
日本円	親投資信託 受益証券	年金型投資戦略・安定マザーファンド	68,190,432	65,169,595	
合計			68,190,432	65,169,595	

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

該当事項はありません。

[次へ](#)

参考情報

積極プラン（年2回決算）は、「年金型投資戦略・積極マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同親投資信託の受益証券です。同親投資信託の状況は以下の通りです。

なお、以下に記載した情報は監査対象外であります。

(1) 貸借対照表

区分	注記 番号	(平成28年2月19日現在)
		金額(円)
資産の部		
流動資産		
預金		13,353,960
コール・ローン		145,400,177
投資信託受益証券		619,542,709
投資証券		3,499,656,080
派生商品評価勘定		261,725,825
未収利息		3
流動資産合計		4,539,678,754
資産合計		4,539,678,754
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		9,569,863
未払解約金		5,277,047
流動負債合計		14,846,910
負債合計		14,846,910
純資産の部		
元本等		
元本		4,968,539,511
剰余金		
剰余金又は欠損金()		443,707,667
元本等合計		4,524,831,844
純資産合計		4,524,831,844
負債純資産合計		4,539,678,754

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	自 平成27年 8月28日 至 平成28年 2月19日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券、投資証券 移動平均法に基づき、法令及び一般社団法人投資信託協会規則に従い、時価評価しております。
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	為替予約取引 為替予約の評価は、原則として、わが国における対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。 但し、同61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。

（貸借対照表に関する注記）

区分	（平成28年2月19日現在）
1. 元本の推移	
期首元本額	4,463,832,001円
期中追加設定元本額	832,726,454円
期中一部解約元本額	328,018,944円
期末元本額	4,968,539,511円
元本の内訳	
GS年金型投資戦略ファンド 積極プラン（年2回決算）	4,889,117,821円
日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 積極プラン（年2回決算）	79,421,690円
2. 受益権の総数	4,968,539,511口
3. 元本の欠損	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は443,707,667円でありま す。

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

区分	自 平成27年 8月28日 至 平成28年 2月19日
<p>1. 金融商品に対する取組方針</p> <p>2. 金融商品の内容及びそのリスク</p> <p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>本ファンドは証券投資信託として、有価証券等への投資ならびにデリバティブ取引を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。</p> <p>本ファンドが保有する主な金融資産は投資信託受益証券、投資証券であり、売買目的で保有しております。</p> <p>デリバティブ取引には、通貨関連では為替予約取引が含まれております。デリバティブ取引は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避する目的で利用しています。</p> <p>投資対象とする金融商品の主なリスクは価格が変動する事によって発生する市場リスク、金融商品の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合に発生する信用リスク、及び金融商品の取引量が著しく乏しい場合に発生する流動性リスクがあります。</p> <p>コンプライアンス部門ならびにオペレーション部門では、運用チームから独立した立場で、法令や信託約款等に実際の売買取引が則っているか、また日々のポジションのモニタリングを行っております。</p> <p>マーケット・リスク管理専任部門では、運用チームとは独立した立場で、運用チームにより構築されたポジションのリスク水準をモニタリングし、各運用チーム、リスク検討委員会に報告します。</p> <p>リスク検討委員会は、法務部・コンプライアンス部を含む各部署の代表から構成されており、マーケット・リスク管理専任部門からの報告事項に対して、必要な報告聴取、調査、検討、決定等を月次で行います。</p>

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	（平成28年2月19日現在）	
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 （円）	
投資信託受益証券	53,595,717	
投資証券	219,117,829	
合計	272,713,546	

（注）当親投資信託の計算期間は、原則として8月20日から翌年8月19日までとなっており、計算期末が休日の場合はその翌営業日となります。上記の当計算期間の損益に含まれた評価差額は、当親投資信託の期首日から開示対象ファンドの期末日までの期間に対応するものとなっております。

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

通貨関連

区分	種類	（平成28年2月19日現在）			
		契約額等 （円）	うち 1年超 （円）	時価 （円）	評価損益 （円）
市場 取引 以外 の 取引	為替予約取引 買建				
	米ドル	228,595,863	-	219,026,000	9,569,863
	売建				
	米ドル	3,265,994,825	-	3,004,269,000	261,725,825
	合計	3,494,590,688	-	3,223,295,000	252,155,962

（注）時価の算定方法

・為替予約取引

1．対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

(1) 予約為替の受渡し日（以下「当該日」という。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該予約為替は当該対顧客先物相場の仲値により評価しております。

(2) 当該日の対顧客先物相場が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートにより評価しております。

当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値により評価しております。

2．対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客相場の仲値により評価しております。

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

区分	(平成28年2月19日現在)
1口当たり純資産額	0.9107円

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

(3) 附属明細表

有価証券明細表

(ア) 株式

該当事項はありません。

(イ) 株式以外の有価証券

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
米ドル	投資信託受益証券	ISHARES CORE EM IMI UCITS ET	76,996	1,444,675.94	
		ISHARES CURRENCY HEDGED MSCI EURO ETF	25,306	588,364.50	
		ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTURE ETF	32,625	1,173,521.25	
		ISHARES MSCI INDIA ETF	6,488	157,593.52	
		ISHARES MSCI JAPAN ETF	33,661	366,231.68	
		SPDR DJ INTERNATIONAL REAL ETF	10,953	417,090.24	
		SPDR DOW JONES REIT ETF	12,423	1,058,439.60	
		SPDR GOLD SHARES	2,352	278,218.08	
	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル CORE エクイティ・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	823,298.315	7,524,946.59	
		ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・エクイティ・パートナーズ IOアキュムレーション・シェアクラス	362,371.33	3,159,877.99	
		ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・フィックス・インカム・ポートフォリオ(為替ヘッジあり) IXO シェアクラス	829,111.812	7,752,195.44	
		ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	86,968.621	1,351,492.37	
		ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・スモール・キャップ CORE ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	368,656.986	3,196,256.06	
		ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・マクロ・ボンド・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	30,352.795	3,194,328.14	
		ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グロース&エマーGING・マーケッツ・デット・ローカル・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	171,258.379	1,880,417.00	

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
小計		ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グロー ス&エマージング・マーケット デット・ポートフォリオ IOア キュムレーション・シェアクラス	156,686.167	2,776,478.87	
		ゴールドマン・サックス・ファン ズ・ピーエルシー - ゴールドマン・ サックスUS \$リキッド・リザーブ ズ・ファンド X アキュムレー ション・シェアクラス	14.227	142,639.75	
				36,462,767.02	
				(4,119,198,789)	
合計				4,119,198,789	
				(4,119,198,789)	

(注) 1. 通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額であります。

2. 合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係るもので、内書きであります。

外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入投資信託 受益証券 時価比率	組入投資証券 時価比率	合計金額に 対する比率
米ドル	投資信託受益証券 8銘柄	15.0%	-	100.0%
	投資証券 9銘柄	-	85.0%	

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「(デリバティブ取引等に関する注記)」の「取引の時価等に関する事項」に記載されております。

安定プラン（年2回決算）及び安定プラン（毎月決算）は、「年金型投資戦略・安定マザーファンド」受益証券を主要投資対象としており、貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は、すべて同親投資信託の受益証券です。同親投資信託の状況は以下の通りです。

なお、以下に記載した情報は監査対象外であります。

（１）貸借対照表

区分	注記 番号	（平成28年2月19日現在）
		金額（円）
資産の部		
流動資産		
預金		9,184,725
金銭信託		860,435
コール・ローン		214,599,823
投資信託受益証券		333,767,412
投資証券		4,136,102,057
派生商品評価勘定		334,628,468
未収利息		5
流動資産合計		5,029,142,925
資産合計		5,029,142,925
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定		2,665,390
未払解約金		26,010,803
流動負債合計		28,676,193
負債合計		28,676,193
純資産の部		
元本等		
元本		5,232,419,275
剰余金		
剰余金又は欠損金（ ）		231,952,543
元本等合計		5,000,466,732
純資産合計		5,000,466,732
負債純資産合計		5,029,142,925

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

区分	自 平成27年 8月28日 至 平成28年 2月19日
1. 有価証券の評価基準及び評価方法	投資信託受益証券、投資証券 移動平均法に基づき、法令及び一般社団法人投資信託協会規則に従い、時価評価しております。
2. デリバティブの評価基準及び評価方法	為替予約取引 為替予約の評価は、原則として、わが国における対顧客先物売買相場の仲値によって計算しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 外貨建取引については、「投資信託財産の計算に関する規則」(平成12年総理府令第133号)第60条に基づき、取引発生時の外国通貨の額をもって記録する方法を採用しております。 但し、同61条に基づき、外国通貨の売却時において、当該外国通貨に加えて、外貨建資産等の外貨基金勘定及び外貨建各損益勘定の前日の外貨建純資産額に対する当該売却外国通貨の割合相当額を当該外国通貨の売却時の外国為替相場等で円換算し、前日の外貨基金勘定に対する円換算した外貨基金勘定の割合相当の邦貨建資産等の外国投資勘定と、円換算した外貨基金勘定を相殺した差額を為替差損益とする計理処理を採用しております。

(貸借対照表に関する注記)

区分	(平成28年2月19日現在)
1. 元本の推移	
期首元本額	3,784,781,335円
期中追加設定元本額	1,712,802,460円
期中一部解約元本額	265,164,520円
期末元本額	5,232,419,275円
元本の内訳	
GS年金型投資戦略ファンド 安定プラン(年2回決算)	2,265,060,339円
日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン(年2回決算)	128,454,000円
GS年金型投資戦略ファンド 安定プラン(毎月決算)	2,770,714,504円
日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン(毎月決算)	68,190,432円
2. 受益権の総数	5,232,419,275口
3. 元本の欠損	純資産額が元本総額を下回っており、その差額は231,952,543円であり ます。

（金融商品に関する注記）

金融商品の状況に関する事項

区分	自 平成27年 8月28日 至 平成28年 2月19日
<p>1. 金融商品に対する取組方針</p> <p>2. 金融商品の内容及びそのリスク</p> <p>3. 金融商品に係るリスク管理体制</p>	<p>本ファンドは証券投資信託として、有価証券等への投資ならびにデリバティブ取引を信託約款に定める「運用の基本方針」に基づき行っております。</p> <p>本ファンドが保有する主な金融資産は投資信託受益証券、投資証券であり、売買目的で保有しております。</p> <p>デリバティブ取引には、通貨関連では為替予約取引が含まれております。デリバティブ取引は、信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避する目的で利用しています。</p> <p>投資対象とする金融商品の主なリスクは価格が変動する事によって発生する市場リスク、金融商品の発行者や取引先等の経営・財務状況が悪化した場合に発生する信用リスク、及び金融商品の取引量が著しく乏しい場合に発生する流動性リスクがあります。</p> <p>コンプライアンス部門ならびにオペレーション部門では、運用チームから独立した立場で、法令や信託約款等に実際の売買取引が則っているか、また日々のポジションのモニタリングを行っております。</p> <p>マーケット・リスク管理専任部門では、運用チームとは独立した立場で、運用チームにより構築されたポジションのリスク水準をモニタリングし、各運用チーム、リスク検討委員会に報告します。</p> <p>リスク検討委員会は、法務部・コンプライアンス部を含む各部署の代表から構成されており、マーケット・リスク管理専任部門からの報告事項に対して、必要な報告聴取、調査、検討、決定等を月次で行います。</p>

金融商品の時価等に関する事項

区分	自 平成27年8月28日 至 平成28年2月19日
1. 貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額 2. 時価の算定方法 3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	<p>金融商品は時価で計上しているため記載を省略しております。</p> <p>(1) 有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品</p> <p>有価証券及びデリバティブ取引以外の金融商品については、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似しているため、当該帳簿価額を時価としております。</p> <p>(2) 有価証券</p> <p>「（重要な会計方針に係る事項に関する注記）」の「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。</p> <p>(3) デリバティブ取引</p> <p>「（デリバティブ取引等に関する注記）」の「取引の時価等に関する事項」に記載しております。</p> <p>金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。</p> <p>また、デリバティブ取引に関する契約額等は、あくまでもデリバティブ取引における名目的な契約額、又は計算上の想定元本であり、当該金額自体がデリバティブ取引のリスクの大きさを示すものではありません。</p>

（有価証券に関する注記）

売買目的有価証券

種類	（平成28年2月19日現在）	
	当計算期間の損益に含まれた評価差額 （円）	
投資信託受益証券	25,091,117	
投資証券	155,680,140	
合計	180,771,257	

（注）当親投資信託の計算期間は、原則として8月20日から翌年8月19日までとなっており、計算期末が休日の場合はその翌営業日となります。上記の当計算期間の損益に含まれた評価差額は、当親投資信託の期首日から開示対象ファンドの期末日までの期間に対応するものとなっております。

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

ヘッジ会計が適用されていないデリバティブ取引

通貨関連

区分	種類	（平成28年2月19日現在）			
		契約額等 （円）	うち 1年超 （円）	時価 （円）	評価損益 （円）
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建				
	米ドル	62,502,390	-	59,837,000	2,665,390
	売建				
	米ドル	4,210,485,468	-	3,875,857,000	334,628,468
	合計	4,272,987,858	-	3,935,694,000	331,963,078

（注）時価の算定方法

・為替予約取引

- 対顧客先物相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。
 - 予約為替の受渡し日（以下「当該日」という。）の対顧客先物相場の仲値が発表されている場合は、当該予約為替は当該対顧客先物相場の仲値により評価しております。
 - 当該日の対顧客先物相場が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

当該日を超える対顧客先物相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物相場の仲値をもとに計算したレートにより評価しております。

当該日を超える対顧客先物相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物相場の仲値により評価しております。
- 対顧客先物相場の仲値が発表されていない外貨については、対顧客相場の仲値により評価しております。

ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引

該当事項はありません。

(関連当事者との取引に関する注記)

該当事項はありません。

(1口当たり情報)

区分	(平成28年2月19日現在)
1口当たり純資産額	0.9557円

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。

(3) 附属明細表

有価証券明細表

(ア) 株式

該当事項はありません。

(イ) 株式以外の有価証券

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
米ドル	投資信託受益証券	ISHARES CORE EM IMI UCITS ET	36,271	680,552.77	
		ISHARES CURRENCY HEDGED MSCI EURO ETF	19,028	442,401.00	
		ISHARES GLOBAL INFRASTRUCTURE ETF	21,052	757,240.44	
		ISHARES MSCI INDIA ETF	4,003	97,232.87	
		ISHARES MSCI JAPAN ETF	25,492	277,352.96	
		SPDR DOW JONES REIT ETF	5,873	500,379.60	
		SPDR GOLD SHARES	1,685	199,318.65	
	投資証券	ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル CORE エクイティ・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	439,979.338	4,021,411.14	
		ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・クレジット・ポートフォリオ (為替ヘッジあり) IOアキュムレーション・シェアクラス	171,657.59	1,881,367.18	
		ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・エクイティ・パートナーズ IOアキュムレーション・シェアクラス	183,256.992	1,598,000.97	
		ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・フィックス・インカム・ポートフォリオ (為替ヘッジあり) IXO シェアクラス	2,357,788.8	22,045,325.28	
		ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・ハイ・イールド・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	30,266.605	470,343.04	
		ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・スモール・キャップ CORE ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	194,857.402	1,689,413.67	
		ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グローバル・ストラテジック・マクロ・ボンド・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	27,063.647	2,848,178.21	

通貨	種類	銘柄	券面総額	評価額	備考
小計		ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グロース&エマージング・マーケット・デット・ローカル・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	92,510.972	1,015,770.47	
		ゴールドマン・サックス・ファンズ S.I.C.A.V. - ゴールドマン・サックス・グロース&エマージング・マーケット・デット・ポートフォリオ IOアキュムレーション・シェアクラス	51,866.425	919,073.05	
		ゴールドマン・サックス・ファンズ・ピーエルシー - ゴールドマン・サックスUS\$リキッド・リザーブズ・ファンド X アキュムレーション・シェアクラス	12.319	123,510.17	
				39,566,871.47	
				(4,469,869,469)	
合計				4,469,869,469	
				(4,469,869,469)	

(注) 1. 通貨種類毎の小計欄の()内は、邦貨換算額であります。

2. 合計金額欄の()内は、外貨建有価証券に係るもので、内書きであります。

外貨建有価証券の内訳

通貨	銘柄数	組入投資信託 受益証券 時価比率	組入投資証券 時価比率	合計金額に 対する比率
米ドル	投資信託受益証券 7銘柄	7.5%	-	100.0%
	投資証券 10銘柄	-	92.5%	

デリバティブ取引及び為替予約取引の契約額等及び時価の状況表

「(デリバティブ取引等に関する注記)」の「取引の時価等に関する事項」に記載されております。

2 ファンドの現況

純資産額計算書

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 積極プラン(年2回決算)>

(平成28年2月29日現在)

資産総額	72,670,339円
負債総額	32,203円
純資産総額(-)	72,638,136円
発行済口数	76,634,524口
1口当たり純資産額(/)	0.9479円

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン(年2回決算)>

(平成28年2月29日現在)

資産総額	122,714,198円
負債総額	54,632円
純資産総額(-)	122,659,566円
発行済口数	125,262,783口
1口当たり純資産額(/)	0.9792円

<日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン(毎月決算)>

(平成28年2月29日現在)

資産総額	67,388,196円
負債総額	29,556円
純資産総額(-)	67,358,640円
発行済口数	69,315,748口
1口当たり純資産額(/)	0.9718円

参考情報

<年金型投資戦略・積極マザーファンド>

(平成28年2月29日現在)

資産総額	8,154,747,728円
負債総額	3,628,971,751円
純資産総額(-)	4,525,775,977円
発行済口数	4,913,259,145口
1口当たり純資産額(/)	0.9211円

<年金型投資戦略・安定マザーファンド>

(平成28年2月29日現在)

資産総額	9,339,623,669円
負債総額	4,296,815,574円
純資産総額(-)	5,042,808,095円
発行済口数	5,238,972,571口
1口当たり純資産額(/)	0.9626円

第三部【委託会社等の情報】

第1【委託会社等の概況】

原届出書の「第三部 委託会社等の情報 第1 委託会社等の概況」については、下記の内容に更新されます。

<訂正・更新後>

1 委託会社等の概況

(1) 資本金の額（本書提出日現在）

資本金の額：金 4 億9,000万円

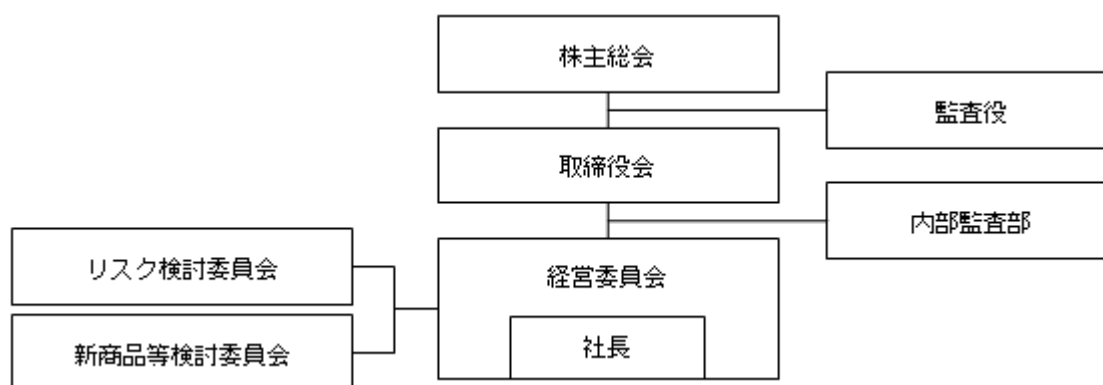
発行する株式の総数：8,000株

発行済株式の総数：6,400株

最近5年間における主な資本の額の増減：該当事項はありません。

(2) 委託会社等の機構

委託会社の業務運営の組織体系は以下の通りです。



経営の意思決定機関として取締役会をおきます。取締役会は、委託会社の業務執行の基本方針を決定し、取締役の職務を監督します。代表取締役である社長は、委託会社を代表し、全般の業務執行について指揮統括します。取締役会は、委嘱された業務の執行にあたり、また、社長に事故あるときにその職務を代行します。

委託会社の業務執行にかかる重要事項を審議する機関として経営委員会をおきます。経営委員会は、取締役会に直屬し、定時取締役会が開催されない期間においては、委託会社の業務執行に関して法令により認められる限度で取締役会が有する一切の権限を保持し、執行します（取締役会の専権事項を除きます。）。

リスク検討委員会は、経営委員会の監督の下に、当社の一切の活動における法令遵守、内部統制、オペレーショナル・リスク、システム・リスク等のリスク、及び関連するレピュテーション上の問題を監視・監督し、当社の経営理念に沿った各種規定及び業務手順が整備されていることを確保するため、権限を行使することができます。また、リスク検討委員会は、適用法令、協会規則、投資信託約款、顧客との運用ガイドラインを遵守するとともに、善良なる管理者としての注意義務および忠実義務の観点から受託者としての責任を遵守するため（議決権行使に関する方針を含みます。）、必要な報告徴収、調査、検討、決定等を行うことができます。

新商品等検討委員会は、経営委員会の監督の下に、新商品等検討委員会規則に基づき、新商品、投資信託の分配方針等に関する正式な検討プロセスを維持することに責任を持ちます。

監査役は、委託会社の会計監査および業務監査を行います。業務の執行は、取締役が行います。

投資運用の意思決定機構

委託会社における投資運用の意思決定は運用本部所属の各部において行われます。運用本部は以下のような部によって構成されています。運用本部の各部では株式運用部長、計量運用部長および債券通貨運用部長がその所属員を指揮監督し、部の業務を統括しています。株式運用部は、日本株の運用を、計量運用部は、計量運用によるタイミング戦略、株式国別配分、債券国別配分および通貨配分などの各戦略をはじめとする多資産クラスの運用ならびに計量運用手法による株式の運用を、債券通貨運用部は、債券および通貨の運用をそれぞれ担当します。それぞれの運用部は各資産クラスの運用について独立した責任と権限をもち、投資運用に関する意思決定を行います。また、運用本部には、上記のほかに、戦略株式運用部、運用投資戦略部、オルタナティブ・インベストメンツ・アンド・マネージャー・セレクション部、不動産運用部、マルチプロダクト・ファンド部およびオルタナティブ投資室があります。



投資運用の意思決定には、委託会社が属するゴールドマン・サックスの資産運用グループのリソースが活用されます。委託会社の運用本部はゴールドマン・サックスの資産運用グループのポートフォリオ・マネジメント・チームの構成員として、他の構成員たる様々な地域のポートフォリオ・マネジメント・チームとグローバルな情報交換を行っています。

2 事業の内容及び営業の概況

事業の内容

投資信託及び投資法人に関する法律に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行うとともに金融商品取引法に定める金融商品取引業者としてその投資運用業務および投資助言業務を行っています。また、金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業務および第二種金融商品取引業務を行っています。

委託会社の運用するファンド

2016年3月末現在、委託会社が運用する証券投資信託は以下のとおりです（親投資信託を除きます。）。

種類	本数	純資産総額（円）
追加型株式投資信託	108	1,604,658,258,158
合計	108	1,604,658,258,158

[次へ](#)

3 委託会社等の経理状況

1. 財務諸表の作成方法について

当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号、以下「財務諸表等規則」という。）並びに同規則第2条の規定に基づき「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

なお、財務諸表の金額については、千円未満の端数を切り捨てて記載しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第21期事業年度（平成27年4月1日から平成27年12月31日まで）の財務諸表について、PwCあらた監査法人により監査を受けております。

なお、従来、当社が監査証明を受けているあらた監査法人は、平成27年7月1日に名称を変更し、PwCあらた監査法人となりました。

(1) 貸借対照表

期別		第20期 (平成27年3月31日現在)			第21期 (平成27年12月31日現在)		
資産の部							
科目	注記 番号	内訳	金額	構成比	内訳	金額	構成比
		千円	千円	%	千円	千円	%
流動資産							
現金・預金			6,748,612			8,541,657	
有価証券			13,297,906			12,097,990	
支払委託金			39			26	
収益分配金		39			26		
前払費用			18			157	
未収委託者報酬			1,842,228			1,527,034	
未収運用受託報酬			1,578,480			1,885,724	
未収収益			368,604			11,848	
繰延税金資産			826,971			1,079,356	
流動資産計			24,662,860	88.5		25,143,796	90.7
固定資産							
投資その他の資産			3,193,568			2,580,738	
投資有価証券		1,596,511			573,290		
長期差入保証金		10,000			10,000		
繰延税金資産		1,587,056			1,997,448		
固定資産計			3,193,568	11.5		2,580,738	9.3
資産合計			27,856,428	100.0		27,724,534	100.0

期別		第20期 (平成27年3月31日現在)			第21期 (平成27年12月31日現在)		
負債の部							
科目	注記 番号	内訳	金額	構成比	内訳	金額	構成比
		千円	千円	%	千円	千円	%
流動負債							
預り金			599			580	
未払金			585,816			538,691	
未払収益分配金		229			242		
未払償還金		72			72		
未払手数料		585,514			538,376		
未払費用			3,406,376			4,518,812	
未払法人税等			957,171			888,102	
未払消費税等			470,936			205,603	
流動負債計			5,420,899	19.5		6,151,789	22.2
固定負債							
長期未払費用			6,285,478			7,097,924	
固定負債計			6,285,478	22.6		7,097,924	25.6
負債合計			11,706,378	42.0		13,249,714	47.8

期別	第20期 (平成27年3月31日現在)			第21期 (平成27年12月31日現在)			
純資産の部							
科目		内訳	金額	構成比	内訳	金額	構成比
		千円	千円	%	千円	千円	%
株主資本							
資本金			490,000			490,000	
資本剰余金			390,000			390,000	
資本準備金		390,000			390,000		
利益剰余金			14,867,795			13,545,174	
その他利益剰余金		14,867,795			13,545,174		
繰越利益剰余金		14,867,795			13,545,174		
株主資本合計			15,747,795	56.5		14,425,174	52.0
評価・換算差額等							
その他有価証券評価差額金		402,254			49,646		
評価・換算差額等合計			402,254	1.4		49,646	0.2
純資産合計			16,150,050	58.0		14,474,820	52.2
負債・純資産合計			27,856,428	100.0		27,724,534	100.0

(2) 損益計算書

期別		第20期 自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日			第21期 自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日					
		科目	注記 番号	内訳	金額	構成比	内訳	金額	構成比	
経常 損益 の部	営業 損益 の部	営業収益		千円	千円	%	千円	千円	%	
		委託者報酬			14,066,674		11,823,135			
		運用受託報酬	* 2		9,173,012		6,961,333			
		その他営業収益	* 2		5,932,747		4,316,802			
		営業収益計			29,172,434	100.0	23,101,271	100.0		
		営業費用								
		支払手数料			6,754,210		5,363,613			
		広告宣伝費			139,448		102,758			
		調査費			6,692,987		5,350,334			
		委託調査費	* 2	6,692,987			5,350,334			
		委託計算費			220,885		159,321			
		営業雑経費			384,844		197,324			
		通信費		205,675			9,974			
		印刷費		147,770			161,506			
		協会費		31,398			25,843			
		営業費用計			14,192,375	48.6	11,173,351	48.4		
		一般管理費								
		給料			7,106,650		5,734,984			
		役員報酬		228,309			185,510			
		給料・手当		2,654,259			2,319,237			
		賞与		1,251,694			746,339			
		株式従業員報酬	* 1	1,027,305			797,337			
		その他の報酬		1,945,082			1,686,559			
		交際費			84,594		57,202			
		寄付金			71,518		63,290			
		旅費交通費			234,673		187,482			
		租税公課			83,891		71,744			
		不動産賃借料			416,707		268,044			
		退職給付費用			842,766		698,807			
		事務委託費			376,536		398,407			
諸経費			998,793		941,860					
一般管理費計			10,216,131	35.0	8,421,824	36.5				
営業利益			4,763,926	16.3	3,506,095	15.2				

期別		第20期 自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日			第21期 自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日			
科目		注記 番号	内訳	金額	構成比	内訳	金額	構成比
経常損益の部	営業外収益							
	収益分配金			49,958			502,884	
	受取利息			18,605			14,231	
	投資有価証券売却益			36,653			66,895	
	株式従業員報酬	* 1		-			59,655	
	為替差益			-			12,446	
	雑益			1,332			-	
	営業外収益計			106,549	0.4		656,114	2.8
	営業外費用							
	支払利息			138			-	
	株式従業員報酬	* 1		434,620			-	
	為替差損			33,391			-	
	投資有価証券売却損			1,065			8	
	営業外費用計			469,216	1.6		8	0.0
経常利益				4,401,260	15.1		4,162,200	18.0
税引前当期純利益				4,401,260	15.1		4,162,200	18.0
法人税、住民税及び事業税				2,267,605	7.8		1,978,986	8.6
法人税等調整額				18,387	0.1		494,163	2.1
当期純利益				2,115,267	7.3		2,677,378	11.6

(3) 株主資本等変動計算書

第20期
(自平成26年4月1日 至平成27年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本						評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
平成26年4月1日残高	490,000	390,000	390,000	15,752,528	15,752,528	16,632,528	235,400	235,400	16,867,928
事業年度中の変動額									
剰余金の配当				3,000,000	3,000,000	3,000,000			3,000,000
当期純利益				2,115,267	2,115,267	2,115,267			2,115,267
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）							166,854	166,854	166,854
事業年度中の変動額合計	-	-	-	884,732	884,732	884,732	166,854	166,854	717,878
平成27年3月31日残高	490,000	390,000	390,000	14,867,795	14,867,795	15,747,795	402,254	402,254	16,150,050

第21期
(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

(単位：千円)

	株主資本						評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計	
		資本準備金	資本剰余金合計	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計				
平成27年4月1日残高	490,000	390,000	390,000	14,867,795	14,867,795	15,747,795	402,254	402,254	16,150,050
事業年度中の変動額									
剰余金の配当				4,000,000	4,000,000	4,000,000			4,000,000
当期純利益				2,677,378	2,677,378	2,677,378			2,677,378
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額（純額）							352,608	352,608	352,608
事業年度中の変動額合計	-	-	-	1,322,621	1,322,621	1,322,621	352,608	352,608	1,675,229
平成27年12月31日残高	490,000	390,000	390,000	13,545,174	13,545,174	14,425,174	49,646	49,646	14,474,820

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	<p>その他有価証券 時価のあるもの 時価をもって貸借対照表価額とし、取得原価（移動平均法による原価法）ないし償却原価との評価差額については全部純資産直入法によっております。</p> <p>時価のないもの 移動平均法による原価法によっております。</p>
2. 引当金の計上基準	<p>(1) 貸倒引当金 貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。</p> <p>(2) 金融商品取引責任準備金 金融商品取引事故による損失に備えるため、金融商品取引法第46条の5第1項に基づく責任準備金を計上しております。</p>
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	<p>(1) 株式従業員報酬の会計処理方法 役員及び従業員に付与されております、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク株式に係る報酬については、企業会計基準第8号「ストック・オプション等に関する会計基準」及び企業会計基準適用指針第11号「ストック・オプション等に関する会計基準の適用指針」に準じて、権利付与日公正価値及び付与された株数に基づき計算される費用を権利確定計算期間にわたり人件費（一般管理費）として処理しております。また、ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクおよびゴールドマン・サックス・ジャパン・ホールディングス有限会社との契約に基づき当社が負担する、権利付与日以降の株価の変動により発生する損益については営業外損益として処理しております。</p> <p>(2) 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。</p> <p>(3) 決算日の変更に関する事項 当社は平成27年6月26日開催の株主総会で決算日を3月31日から12月31日に変更致しました。これに伴い、平成27年12月期の会計年度は平成27年4月1日から平成27年12月31日までの9ヶ月間となりました。</p>

注記事項

(貸借対照表関係)

第20期 (平成27年3月31日現在)	第21期 (平成27年12月31日現在)
該当事項はありません。	該当事項はありません。

(損益計算書関係)

第20期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	第21期 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)																				
<p>* 1 株式従業員報酬 役員及び従業員に付与されておりますザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク株式に係る報酬に関するものであり、当該株式の株価及び付与された株数に基づき算出し配賦されております。</p> <p>* 2 関係会社項目 関係会社との取引に係るものが次のとおり含まれております。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">営業収益</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">運用受託報酬</td> <td style="text-align: right;">2,942,406千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他営業収益</td> <td style="text-align: right;">5,828,635千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">営業費用</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">委託調査費</td> <td style="text-align: right;">6,692,987千円</td> </tr> </table>	営業収益		運用受託報酬	2,942,406千円	その他営業収益	5,828,635千円	営業費用		委託調査費	6,692,987千円	<p>* 1 株式従業員報酬 同左</p> <p>* 2 関係会社項目 同左</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="2">営業収益</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">運用受託報酬</td> <td style="text-align: right;">1,882,545千円</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他営業収益</td> <td style="text-align: right;">4,175,357千円</td> </tr> <tr> <td colspan="2">営業費用</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">委託調査費</td> <td style="text-align: right;">5,350,334千円</td> </tr> </table>	営業収益		運用受託報酬	1,882,545千円	その他営業収益	4,175,357千円	営業費用		委託調査費	5,350,334千円
営業収益																					
運用受託報酬	2,942,406千円																				
その他営業収益	5,828,635千円																				
営業費用																					
委託調査費	6,692,987千円																				
営業収益																					
運用受託報酬	1,882,545千円																				
その他営業収益	4,175,357千円																				
営業費用																					
委託調査費	5,350,334千円																				

（株主資本等変動計算書関係）

第20期（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

1．発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式（株）	6,400	-	-	6,400

2．配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額（円）	基準日	効力発生日
平成26年12月12日 臨時株主総会	普通株式	3,000,000	468,750	平成26年12月18日	平成26年12月18日

第21期（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

1．発行済株式に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	増加	減少	当事業年度末
普通株式（株）	6,400	-	-	6,400

2．配当に関する事項

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額（円）	基準日	効力発生日
平成27年12月18日 臨時株主総会	普通株式	4,000,000	625,000	平成27年12月21日	平成27年12月21日

（リース取引関係）

第20期 （自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）	第21期 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）
注記すべきリース取引を行っていないため、該当事項はありません。	同左

（金融商品関係）

第20期
（自 平成26年4月1日
至 平成27年3月31日）

(1) 金融商品の状況に関する事項

金融商品の内容及び金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業、投資助言・代理業を含む金融商品取引法により金融商品取引業者が行うことができる業務、及びこれに付帯関連する業務を行っております。これらの業務に関連し、当社は、主に現金・預金、コマーシャル・ペーパー、未収委託者報酬、未収運用受託報酬及び投資有価証券といった金融資産を保有しております。なお、当社は、資金運用については短期的な預金やコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に限定する方針です。投資有価証券は事業推進目的のために保有する当社設定の投資信託であります。

金融商品に係るリスク及びその管理体制

金融商品に係るリスクは、信用リスク、市場リスク、流動性リスク等であります。当社は、効率的なリスク管理が極めて重要であると考えており、職務の分掌と経営陣による監督は、当社リスク管理手続の重要な要素であります。

信用リスク

当社の信用リスクは主に、銀行預金、コマーシャル・ペーパー、営業債権（当社が運用する投資信託から受領する委託者報酬及び投資一任契約に基づき顧客から受領する運用受託報酬等）に係るものがあります。

銀行預金に係る信用リスクについては、預金先銀行の信用力を口座開設時およびその後継続的に評価することによって管理しております。

コマーシャル・ペーパーに係る信用リスクについては、発行体をゴールドマン・サックスのグループ会社とし、定期的に金額その他条件を見直すことによって管理しております。

また、営業債権は一年以内に回収される債権であり、社内規程に沿ってリスク管理を行っております。なお、過去に未収委託者報酬及び未収運用受託報酬を回収できなかったケースはございません。

市場リスク

当社は、海外の関連会社との取引により生じた外国通貨建て資産負債を保有していることから、為替相場の変動によるリスクに晒されております。当社は為替リスクを管理するため、外貨建資産負債の純額が予め社内で設定した水準を越える場合、当該通貨の売買を行い、為替リスクを削減しております。また、当社は事業推進目的のために当社設定の投資有価証券を保有していることから、基準価額の変動による価格変動リスクに晒されております。係る投資有価証券については運用を行う資産の種類を文書に定め、取得にあたり事前に社内委員会にて検討・承認をし、保有の目的が達成されたと判断された時点で適時処分しております。

流動性および資金調達リスク

当社は、資金運用を預金やコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に限定することで流動性リスクを管理しており、当社において流動性リスク及び資金調達リスクは非常に低いものと考えております。また、ゴールドマン・サックスのグループ会社との間で融資枠を設定し、緊急時の資金調達手段を確保し、資金調達リスクに備えております。

第20期
（自 平成26年4月1日
至 平成27年3月31日）

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成27年3月31日現在における貸借対照表計上額、貸借対照表日における時価及びその差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
現金・預金	6,748,612	6,748,612	-
有価証券			
其他有価証券	13,297,906	13,297,906	-
未収委託者報酬	1,842,228	1,842,228	-
未収運用受託報酬	1,578,480	1,578,480	-
投資有価証券			
其他投資有価証券	1,596,511	1,596,511	-

金融商品の時価の算定方法

現金・預金、有価証券、未収委託者報酬及び未収運用受託報酬については、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。投資有価証券については、投資信託であり、直近の基準価額によっております。

金銭債権及び満期のある有価証券の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
現金・預金	6,748,612	-	-	-	-	-
有価証券						
其他有価証券のうち満期があるもの	13,300,000	-	-	-	-	-
未収委託者報酬	1,842,228	-	-	-	-	-
未収運用受託報酬	1,578,480	-	-	-	-	-

第21期
（自 平成27年4月1日
至 平成27年12月31日）

(1) 金融商品の状況に関する事項

金融商品の内容及び金融商品に対する取組方針

当社は、投資運用業、投資助言・代理業を含む金融商品取引法により金融商品取引業者が行うことができる業務、及びこれに付帯関連する業務を行っております。これらの業務に関連し、当社は、主に現金・預金、コマーシャル・ペーパー、未収委託者報酬、未収運用受託報酬及び投資有価証券といった金融資産を保有しております。なお、当社は、資金運用については短期的な預金やコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に限定する方針です。投資有価証券は事業推進目的のために保有する当社設定の投資信託であります。

金融商品に係るリスク及びその管理体制

金融商品に係るリスクは、信用リスク、市場リスク、流動性リスク等であります。当社は、効率的なリスク管理が極めて重要であると考えており、職務の分掌と経営陣による監督は、当社リスク管理手続の重要な要素であります。

信用リスク

当社の信用リスクは主に、銀行預金、コマーシャル・ペーパー、営業債権（当社が運用する投資信託から受領する委託者報酬及び投資一任契約に基づき顧客から受領する運用受託報酬等）に係るものがあります。

銀行預金に係る信用リスクについては、預金先銀行の信用力を口座開設時およびその後継続的に評価することによって管理しております。

コマーシャル・ペーパーに係る信用リスクについては、発行体をゴールドマン・サックスのグループ会社とし、定期的に金額その他条件を見直すことによって管理しております。

また、営業債権は一年以内に回収される債権であり、社内規程に沿ってリスク管理を行っております。なお、過去に未収委託者報酬及び未収運用受託報酬を回収できなかったケースはございません。

市場リスク

当社は、海外の関連会社との取引により生じた外国通貨建て資産負債を保有していることから、為替相場の変動によるリスクに晒されております。当社は為替リスクを管理するため、外貨建資産負債の純額が予め社内設定した水準を越える場合、当該通貨の売買を行い、為替リスクを削減しております。また、当社は事業推進目的のために当社設定の投資有価証券を保有していることから、基準価額の変動による価格変動リスクに晒されております。係る投資有価証券については運用を行う資産の種類を文書に定め、取得にあたり事前に社内委員会にて検討・承認をし、保有の目的が達成されたと判断された時点で適時処分しております。

流動性および資金調達リスク

当社は、資金運用を預金やコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に限定することで流動性リスクを管理しており、当社において流動性リスク及び資金調達リスクは非常に低いものと考えております。また、ゴールドマン・サックスのグループ会社との間で融資枠を設定し、緊急時の資金調達手段を確保し、資金調達リスクに備えております。

第21期
（自 平成27年4月1日
至 平成27年12月31日）

(2) 金融商品の時価等に関する事項

平成27年12月31日現在における貸借対照表計上額、貸借対照表日における時価及びその差額については、次のとおりであります。

(単位：千円)

	貸借対照表計上額	時価	差額
現金・預金	8,541,657	8,541,657	-
有価証券			
其他有価証券	12,097,990	12,097,990	-
未収委託者報酬	1,527,034	1,527,034	-
未収運用受託報酬	1,885,724	1,885,724	-
投資有価証券			
其他投資有価証券	573,290	573,290	-

金融商品の時価の算定方法

現金・預金、有価証券、未収委託者報酬及び未収運用受託報酬については、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。投資有価証券については、投資信託であり、直近の基準価額によっております。

金銭債権及び満期のある有価証券の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超
現金・預金	8,541,657	-	-	-	-	-
有価証券						
其他有価証券のうち満期があるもの	12,100,000	-	-	-	-	-
未収委託者報酬	1,527,034	-	-	-	-	-
未収運用受託報酬	1,885,724	-	-	-	-	-

（有価証券関係）

第20期 （自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）					第21期 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）				
1. その他有価証券で時価のあるもの					1. その他有価証券で時価のあるもの				
区分	種類	取得原価 （千円）	貸借対照 表計上額 （千円）	差額 （千円）	区分	種類	取得原価 （千円）	貸借対照 表計上額 （千円）	差額 （千円）
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	投資信託	1,002,000	1,596,511	594,511	貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	投資信託	500,000	573,290	73,290
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	コマーシャル・ペーパー	13,297,906	13,297,906	-	貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	コマーシャル・ペーパー	12,097,990	12,097,990	-
2. 当事業年度中に売却したその他有価証券					2. 当事業年度中に売却したその他有価証券				
売却額（千円）	売却益の合計額 （千円）	売却損の合計額 （千円）			売却額（千円）	売却益の合計額 （千円）	売却損の合計額 （千円）		
285,818	36,653	1,065			568,887	66,895	8		

（デリバティブ取引関係）

第20期 （自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）	第21期 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）
当社は、デリバティブ取引を行っておりませんので、該当事項はありません。	同左

（退職給付関係）

第20期 （自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）	第21期 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）
1. 採用している退職給付制度の概要 当社は、退職給付制度を採用しておりません。	1. 採用している退職給付制度の概要 同左
2. 退職給付費用に関する事項 損益計算書上、出向者負担金等に含まれる退職給付費用負担金相当額を、退職給付費用として計上しております。	2. 退職給付費用に関する事項 同左

（税効果会計関係）

第20期 （自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）	第21期 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）																																												
<p>1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳</p> <p>繰延税金資産（流動資産）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">未払費用</td> <td style="text-align: right;">735,838千円</td> </tr> <tr> <td>未払事業税</td> <td style="text-align: right;">67,023</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">24,108</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">小計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">826,971</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産（流動資産）</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">826,971</td> </tr> </table> <p>繰延税金資産（固定資産）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">長期未払費用</td> <td style="text-align: right;">1,710,136</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">69,177</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">小計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,779,313</td> </tr> </table> <p>繰延税金負債（固定負債）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right;">192,256</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">小計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">192,256</td> </tr> </table> <p>繰延税金資産（固定資産）の純額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;"></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">1,587,056千円</td> </tr> </table>	未払費用	735,838千円	未払事業税	67,023	その他	24,108	小計	826,971	繰延税金資産（流動資産）	826,971	長期未払費用	1,710,136	その他	69,177	小計	1,779,313	その他有価証券評価差額金	192,256	小計	192,256		1,587,056千円	<p>1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳</p> <p>繰延税金資産（流動資産）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">未払費用</td> <td style="text-align: right;">980,373千円</td> </tr> <tr> <td>未払事業税</td> <td style="text-align: right;">64,201</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">34,781</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">小計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,079,356</td> </tr> <tr> <td>繰延税金資産（流動資産）</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">1,079,356</td> </tr> </table> <p>繰延税金資産（固定資産）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">長期未払費用</td> <td style="text-align: right;">1,939,534</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">81,558</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">小計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">2,021,092</td> </tr> </table> <p>繰延税金負債（固定負債）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">その他有価証券評価差額金</td> <td style="text-align: right;">23,644</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">小計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">23,644</td> </tr> </table> <p>繰延税金資産（固定資産）の純額</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;"></td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">1,997,448千円</td> </tr> </table>	未払費用	980,373千円	未払事業税	64,201	その他	34,781	小計	1,079,356	繰延税金資産（流動資産）	1,079,356	長期未払費用	1,939,534	その他	81,558	小計	2,021,092	その他有価証券評価差額金	23,644	小計	23,644		1,997,448千円
未払費用	735,838千円																																												
未払事業税	67,023																																												
その他	24,108																																												
小計	826,971																																												
繰延税金資産（流動資産）	826,971																																												
長期未払費用	1,710,136																																												
その他	69,177																																												
小計	1,779,313																																												
その他有価証券評価差額金	192,256																																												
小計	192,256																																												
	1,587,056千円																																												
未払費用	980,373千円																																												
未払事業税	64,201																																												
その他	34,781																																												
小計	1,079,356																																												
繰延税金資産（流動資産）	1,079,356																																												
長期未払費用	1,939,534																																												
その他	81,558																																												
小計	2,021,092																																												
その他有価証券評価差額金	23,644																																												
小計	23,644																																												
	1,997,448千円																																												
<p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">法定実効税率（調整）</td> <td style="text-align: right;">35.64 %</td> </tr> <tr> <td>賞与等永久に損金に算入されない項目</td> <td style="text-align: right;">10.62 %</td> </tr> <tr> <td>法人税等の税率変更による繰延税金資産の修正</td> <td style="text-align: right;">5.57 %</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">0.11 %</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">税効果会計適用後の法人税等の負担率</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">51.94 %</td> </tr> </table>	法定実効税率（調整）	35.64 %	賞与等永久に損金に算入されない項目	10.62 %	法人税等の税率変更による繰延税金資産の修正	5.57 %	その他	0.11 %	税効果会計適用後の法人税等の負担率	51.94 %	<p>2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">法定実効税率（調整）</td> <td style="text-align: right;">33.06 %</td> </tr> <tr> <td>賞与等永久に損金に算入されない項目</td> <td style="text-align: right;">3.02 %</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">0.40 %</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">税効果会計適用後の法人税等の負担率</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black; border-bottom: 3px double black;">35.67 %</td> </tr> </table>	法定実効税率（調整）	33.06 %	賞与等永久に損金に算入されない項目	3.02 %	その他	0.40 %	税効果会計適用後の法人税等の負担率	35.67 %																										
法定実効税率（調整）	35.64 %																																												
賞与等永久に損金に算入されない項目	10.62 %																																												
法人税等の税率変更による繰延税金資産の修正	5.57 %																																												
その他	0.11 %																																												
税効果会計適用後の法人税等の負担率	51.94 %																																												
法定実効税率（調整）	33.06 %																																												
賞与等永久に損金に算入されない項目	3.02 %																																												
その他	0.40 %																																												
税効果会計適用後の法人税等の負担率	35.67 %																																												

第20期 (自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日)	第21期 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
<p>3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正</p> <p>「所得税法等の一部を改正する法律」（平成27年法律第9号）が平成27年3月31日に公布され、平成27年4月1日以後に開始する事業年度から法人税率及び事業税率の引下げが行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の35.64%から、平成27年4月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については33.10%に、平成28年4月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については32.34%となります。この税率変更により、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）は225百万円減少し、法人税等調整額が245百万円増加しております。</p>	<p>3. 法人税等の税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正</p> <p>該当事項はありません。</p>

〔セグメント情報等〕

第20期（自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）

〔セグメント情報〕

当社の報告セグメントは、投資運用業者として単一であるため、該当事項はありません。

〔関連情報〕

1. 製品及びサービスに関する情報

（単位：千円）

	委託者報酬	運用受託報酬	オフショア・ファンド 関連報酬等	合計
外部顧客からの収益	14,066,674	9,173,012	5,932,747	29,172,434

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

（単位：千円）

日本	その他	合計
25,087,105	4,085,328	29,172,434

営業収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

当社は有形固定資産を保有していないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、該当事項はありません。

第21期（自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）

〔セグメント情報〕

当社の報告セグメントは、投資運用業者として単一であるため、該当事項はありません。

〔関連情報〕

1. 製品及びサービスに関する情報

（単位：千円）

	委託者報酬	運用受託報酬	オフショア・ファンド 関連報酬等	合計
外部顧客からの収益	11,823,135	6,961,333	4,316,802	23,101,271

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

（単位：千円）

日本	その他	合計
19,904,703	3,196,568	23,101,271

営業収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

当社は有形固定資産を保有していないため、該当事項はありません。

3. 主要な顧客ごとの情報

外部顧客からの収益のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、該当事項はありません。

（関連当事者情報）

第20期 （自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）										
親会社及び法人主要株主等										
種類	会社等の名称	所在地	資本金 又は出 資金	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有（被所 有）割合	関連当事 者との関 係	取引の内容	取引金額 （千円）	科目	期末残高 （千円）
親会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー	アメリカ合衆国 ニューヨーク州	8 百万ドル	投資顧問業	被所有 直接 99%	投資助言	その他営業収益（注1） 運用受託報酬（注1） 委託調査費の支払（注1）	5,828,635 2,942,406 6,692,987		
取引条件及び取引条件の決定方針等 （注1）その他営業収益、運用受託報酬、ならびに委託調査費の支払に関しては、関係会社間の契約に基づき決定しております。 役員及び個人主要株主等 該当事項はありません。 兄弟会社等										
種類	会社等の名称	所在地	資本金 又は出 資金	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有（被所 有）割合	関連当事 者との関 係	取引の内容	取引金額 （千円）	科目	期末残高 （千円）
親会社の子会社	ゴールドマン・サックス証券株式会社	東京都港区	83,616 百万円	金融商品取引業		業務委託 役員の兼任 有価証券の購入	兼務従業員の 人件費等の支払（注1）	2,452,937	有価証券 未払費用	13,297,906 287,201
親会社の子会社	ゴールドマン・サックス・ジャパン・ホールディングス 有限会社	東京都港区	100 百万円	ゴールドマン・サックス・グループ 人事・総務・施設管理 業務受託		従業員出 向受入等 役員の兼任	出向者に関する 人件費等の 負担金（注2） 営業費用及 び一般管理 費	6,803,100	未払費用 長期未払 費用	2,791,417 6,188,739
親会社の子会社	ゴールドマン・サックス・バンク・USA	アメリカ合衆国 ニューヨーク州	8,000 百万ドル	銀行業		現金の預 入			現金・預 金	1,975,463
親会社の子会社	ゴールドマン・サックス・インベストメント・ストラテジー・LLC	アメリカ合衆国 ニューヨーク州	37 百万ドル	投資顧問業		投資助言			未収収益	354,819
取引条件及び取引条件の決定方針等 （注1）兼務従業員の人件費等の支払に関しては、グループ会社間の契約に基づき、決定しております。 （注2）ゴールドマン・サックス・ジャパン・ホールディングス有限会社（以下GSJH）より出向している役員及び従業員の給料、賞与、退職金等の支払はGSJHより行われております。 但し、これらの費用はGSJHより当社に請求されるものであり、賞与及び退職給付の引当額については、当社においてはGSJHに対する債務として処理しております。										
親会社又は重要な関連会社に関する注記 親会社情報 ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所に上場） ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー（未上場）										

第21期
（自 平成27年4月1日
至 平成27年12月31日）

親会社及び法人主要株主等

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額（千円）	科目	期末残高（千円）
親会社	ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー	アメリカ合衆国 ニューヨーク州	8 百万ドル	投資顧問業	被所有 直接 99%	投資助言	その他営業収益（注1） 運用受託報酬（注1） 委託調査費（注1）	4,175,357 1,882,545 5,350,334		

取引条件及び取引条件の決定方針等

（注1）その他営業収益、運用受託報酬、ならびに委託調査費に関しては、関係会社間の契約に基づき決定しております。

役員及び個人主要株主等

該当事項はありません。

兄弟会社等

種類	会社等の名称	所在地	資本金又は出資金	事業の内容又は職業	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額（千円）	科目	期末残高（千円）
親会社の子会社	ゴールドマン・サックス証券株式会社	東京都港区	83,616 百万円	金融商品取引業		業務委託 役員の兼任 有価証券の購入	兼務従業員の 人件費等 （注1）	2,233,594	有価証券	12,097,990
親会社の子会社	ゴールドマン・サックス・ジャパン・ホールディングス 有限公司	東京都港区	100 百万円	ゴールドマン・サックス・グループ人事・総務・施設管理業務受託		従業員出向受入等 役員の兼任	出向者に関する 人件費等 （注2）	5,538,780	未払費用 長期未払費用	3,776,015 7,075,447
親会社の子会社	ゴールドマン・サックス・バンク・USA	アメリカ合衆国 ニューヨーク州	8,000 百万ドル	銀行業		現金の預入			現金・預金	1,344,386

取引条件及び取引条件の決定方針等

（注1）兼務従業員の人件費等に関しては、グループ会社間の契約に基づき、決定しております。

（注2）ゴールドマン・サックス・ジャパン・ホールディングス有限公司（以下GSJH）より出向している役員及び従業員の給料、賞与、退職金等の支払はGSJHより行われております。

但し、これらの費用はGSJHより当社に請求されるものであり、賞与及び退職給付の引当額については、当社においてはGSJHに対する債務として処理しております。

親会社又は重要な関連会社に関する注記

親会社情報

ザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インク（ニューヨーク証券取引所に上場）
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー（未上場）

（1株当たり情報）

第20期 （自 平成26年4月1日 至 平成27年3月31日）		第21期 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）	
1株当たり純資産額	2,523,445円38銭	1株当たり純資産額	2,261,690円72銭
1株当たり当期純利益金額	330,510円53銭	1株当たり当期純利益金額	418,340円43銭
損益計算書上の当期純利益	2,115,267千円	損益計算書上の当期純利益	2,677,378千円
1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式に係る当期純利益	2,115,267千円	1株当たり当期純利益の算定に用いられた普通株式に係る当期純利益	2,677,378千円
差額	-	差額	-
期中平均株式数		期中平均株式数	
普通株式	6,400株	普通株式	6,400株
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権付社債等潜在株式がないため記載しておりません。		同左	

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

[次へ](#)

4 利害関係人との取引制限

委託会社は、金融商品取引法の定めるところにより、利害関係人との取引について、次に掲げる行為が禁止されています。

- (1) 自己又はその取締役若しくは執行役との間における取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- (2) 運用財産相互間において取引を行うことを内容とした運用を行うこと（投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれがないものとして内閣府令で定めるものを除きます。）。
- (3) 通常の取引の条件と異なる条件であって取引の公正を害するおそれのある条件で、委託会社の親法人等（委託会社の総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下(4)(5)において同じ。）又は子法人等（委託会社が総株主等の議決権の過半数を保有していることその他の当該金融商品取引業者と密接な関係を有する法人その他の団体として政令で定める要件に該当する者をいいます。以下同じ。）と有価証券の売買その他の取引又は金融デリバティブ取引を行うこと。
- (4) 委託会社の親法人等又は子法人等の利益を図るため、その行う投資運用業に関して運用の方針、運用財産の額若しくは市場の状況に照らして不必要な取引を行うことを内容とした運用を行うこと。
- (5) 上記(3)(4)に掲げるもののほか、委託会社の親法人等又は子法人等が関与する行為であって、投資者の保護に欠け、若しくは取引の公正を害し、又は金融商品取引業の信用を失墜させるおそれのあるものとして内閣府令で定める行為

5 その他

- (1) 委託会社に関し、2016年1月1日付けで株券の不発行に関する定款の変更を行いました。営業譲渡および営業譲受、出資の状況その他の重要な事項は予定されておりません。
- (2) 本書提出日現在の前1年以内において、訴訟事件その他委託会社等に重要な影響を及ぼした事実および重要な影響を及ぼすことが予想される事実は存在しておりません。

第2【その他の関係法人の概況】

原届出書の「第三部 委託会社等の情報 第2 その他の関係法人の概況」については、下記の内容に更新されます。

<訂正・更新後>

1 名称、資本金の額及び事業の内容

(1) 投資顧問会社

(2014年12月末日現在)

名称	資本金の額	事業の内容
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・エル・ピー (G S A Mニューヨーク)	8百万米ドル (964百万円 1米ドル = 120.55円)	G S A Mニューヨークは、米国において、内外の有価証券等に係る投資顧問業務およびその他付帯関連する一切の業務を営んでいます。
ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント・インターナショナル (G S A Mロンドン)	1,756千米ドル (212百万円。 1米ドル = 120.55円)	G S A Mロンドンは、主として英国において業務を行うザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクの関連企業です。G S A Mロンドンおよびその投資顧問関連企業は、現在、投資信託、公的年金・企業年金、各種公益基金、銀行、保険会社、事業法人および個人投資家を含む広範囲の顧客にサービスを提供しています。
ゴールドマン・サックス(シンガポール)ピーティーイー (G S A Mシンガポール)	287百万米ドル (34,598百万円。 1米ドル = 120.55円)	G S A Mシンガポールは、シンガポールにおいて、投資銀行業務、トレーディングおよび自己勘定投資ならびに証券関連サービスを営んでおり、その資産運用部門は内外の有価証券等に係る投資顧問業務、その他付帯関連する一切の業務を営んでいます。

(2) 受託銀行

(2015年3月末日現在)

名称	資本金の額	事業の内容
株式会社りそな銀行	279,928百万円	銀行法に基づき銀行業を営むとともに、金融機関の信託業務の兼営等に関する法律(兼営法)に基づき信託業務を営んでいます。

(3) 販売会社

(2015年3月末日現在)

名称	資本金の額	事業の内容
S M B C日興証券株式会社	10,000百万円	金融商品取引法に定める第一種金融商品取引業を中心としたサービスを提供しています。

2 関係業務の概要

(1) 投資顧問会社

G S A Mニューヨーク、G S A MロンドンおよびG S A Mシンガポールは本ファンドの投資顧問会社であり、本ファンドに関し、委託会社より投資信託証券および為替の運用の指図に関する権限の委託を受けて投資判断・発注等を行っています。

(2) 受託銀行

本ファンドの受託者として、信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の保管銀行への指図・連絡等を行います。

(3) 販売会社

本ファンドの販売会社として、受益権の募集の取扱い、信託契約の一部解約に関する事務、収益分配金の再投資に関する事務、一部解約金・収益分配金・償還金の支払いに関する事務等を行います。

3 資本関係

(1) 投資顧問会社

G S A Mニューヨーク、G S A Mロンドン、G S A Mシンガポールおよび委託会社はいずれもザ・ゴールドマン・サックス・グループ・インクの子会社です。

(2) 受託銀行

該当事項はありません。

(3) 販売会社

該当事項はありません。

独立監査人の監査報告書

平成28年3月23日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

取締役会 御中

P w C あらた監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	佐々木貴司
指定社員 業務執行社員	公認会計士	山口 健志

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 積極プラン（年2回決算）の平成27年8月28日から平成28年2月19日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 積極プラン（年2回決算）の平成28年2月19日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注1）上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

（注2）財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成28年3月23日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

取締役会 御中

P w C あらた監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	佐々木貴司
指定社員 業務執行社員	公認会計士	山口 健志

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン（年2回決算）の平成27年8月28日から平成28年2月19日までの計算期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン（年2回決算）の平成28年2月19日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する計算期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注1）上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

（注2）財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成28年3月23日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

取締役会 御中

P w C あらた監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	佐々木貴司
指定社員 業務執行社員	公認会計士	山口 健志

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン（毎月決算）の平成27年8月28日から平成28年2月19日までの特定期間の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益及び剰余金計算書、注記表並びに附属明細表について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、日興ゴールドマン・サックス年金型投資戦略ファンド 安定プラン（毎月決算）の平成28年2月19日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する特定期間の損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注1）上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

（注2）財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれていません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成28年3月1日

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社

取締役会 御中

P w C あらた監査法人

指定社員 業務執行社員	公認会計士	佐々木貴司
指定社員 業務執行社員	公認会計士	山口 健志

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられているゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の平成27年4月1日から平成27年12月31日までの第21期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社の平成27年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

() 上記は、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。